

ニーズ調査

こども・若者調査

事業所・団体アンケート調査

第三期倉敷市子ども・子育て支援事業計画のための ニーズ調査・生活実態/意向調査に関する報告概要

1 子ども・子育て支援に関するニーズ調査について

1 調査の目的

本調査は、令和7年度（2025年度）を始期とする「第三期倉敷市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、教育・保育施設のニーズや、子育てに関する支援サービスのニーズ（量の見込み）などを把握するために実施するものです。

2 調査対象と調査方法

調査票の種類	調査対象・方法
就学前児童保護者調査票Ⅰ	・倉敷市に在住する就学前児童の保護者（無作為抽出） ・郵送配布、郵送回収及びWeb回答
就学前児童保護者調査票Ⅱ ※ニーズ以外項目含む	・倉敷市に在住する就学前児童の保護者（無作為抽出） ・郵送配布、郵送回収及びWeb回答
小学生保護者調査票 ※ニーズ以外項目含む	・倉敷市に在住する小学生の保護者（無作為抽出） ・郵送配布、郵送回収及びWeb回答

3 調査期間

令和6年2月9日 ～ 令和6年2月26日

4 回収結果

調査票の種類	配布数	有効回収数	有効回答率
就学前児童保護者調査票Ⅰ	1,000	475	47.5%
就学前児童保護者調査票Ⅱ	1,000	452	45.2%
小学生保護者調査票	1,000	405	40.5%

倉敷市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 ご協力をお願い（就学前児童用）

皆様には日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび倉敷市では、令和7年度から11年度までを計画期間とする「第三期子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、子育て世帯の皆様の子育ての状況や子育て支援に関するニーズを把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

◆倉敷市により良い子育ての環境を整備していくための基礎となる非常に重要な調査です。つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

◆就学前のお子さんを倉敷・児島・玉島・水島地区ごとに無作為に選ばせていただきました。

◆なお、ご回答いただいた調査内容は、統計的に処理しますので、ご回答いただいた内容で個人が特定されることはありません。

令和6年2月 倉敷市長 伊東 香織

【ご回答にあたってのお願い】

■回答方法

●このアンケートは、Webフォームにてご回答が可能です。
スマートフォン、PCから右の二次元バーコード、または
<https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=kurashiki-213> にアクセスしてください。



●用紙への記入か、Webでの入力か、どちらかでご回答ください。

1. あて名のお子さんについてご回答ください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がご回答ください。
3. 数字（年齢や時間帯等）をお尋ねする質問では、具体的な数字をご入力ください。
また、時間については24時間制でご回答ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、案内に従ってご回答ください。

5. 保育サービスなどの子育て支援サービスについてお尋ねする質問がありますが、これらの質問は各事業の必要なサービス量を推計するためのものであり、実際のサービスの利用の可否を確認・決定するものではありません。また、サービスの利用条件等をすべて示しているものではありません。実際のサービスのご利用にあたりましては、各担当課にお問い合わせください。

■アンケートは、**令和6年2月16日（金）までにご回答（投函）ください。**

■この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】

調査業務委託会社：Next-i 株式会社
電話：086-230-0600（受付時間：平日 9:00～18:00）

【調査主体】

倉敷市保健福祉局 子ども未来部 子育て支援課
電話：086-426-3314

項目一覧(ニーズ調査項目)

… P 4 ~ 1 5 における抜粋項目

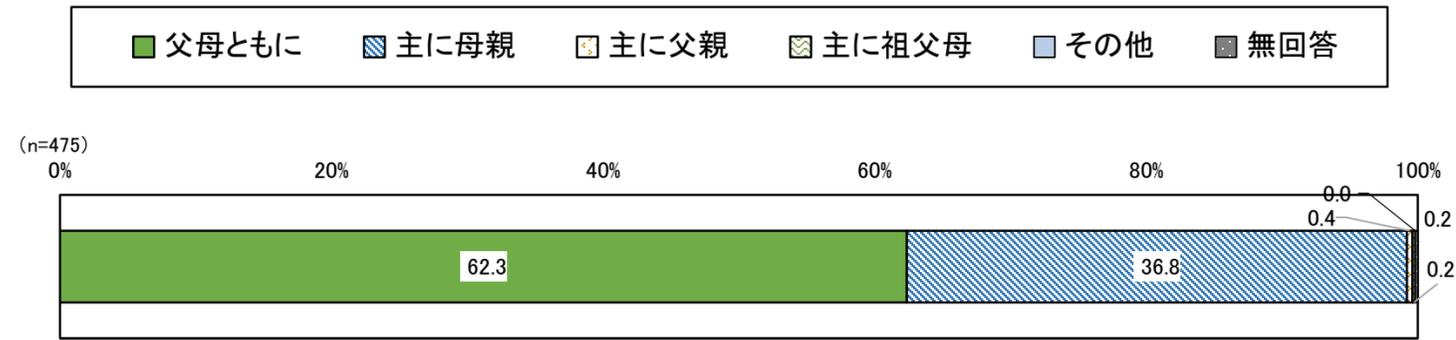
就学前保護者Ⅰ (ニーズ調査項目)	
問1	お住まいの地域の学区
問2	あて名のお子さんの生年月
問3	きょうだいの数
問4	お子さんとの続柄
問5	回答者の配偶者の有無
問6	子育てを主に行っている家族
問7	子育てにもっとも影響すると思われる環境
問8	親族や友人にお子さんを見てもらっている状況
問9	子育てについて気軽に相談できる人の有無と相手
問10	子育てをする上で周囲からどのようなサポートがあればよいか (自由記述)
問11	母親・父親の就労状況・就労日数・就労時間・勤務地
問12	フルタイム勤務への転換希望
問13	母親・父親の復職希望
問14	定期的な教育・保育事業(幼稚園や保育所等)利用の有無/利用している事業 ⇒利用頻度・時間・場所/希望する利用頻度・時間帯
問15	定期的にご利用したいと考える教育・保育事業 幼稚園の利用希望について
問16	0歳時における子育てに対する考え方
問17	地域子育て支援拠点事業の利用状況
問18	地域子育て拠点支援事業の利用意向
問19	土曜・休日・長期休暇の定期的な教育・保育事業の利用希望
問20	幼稚園の長期休暇中の利用希望
問21	病気やケガで、幼稚園や保育所等が利用できなかったことがあるか ⇒対処方法 病児・病後児保育事業の利用希望 ⇒利用したいと思わない理由
問22	1年間で私用、通院、就労等で不定期に利用する預かり等の事業 ⇒利用希望、利用したい理由、日数
問23	用事や育児疲れなどでショートステイを利用する必要があるか、希望日数
問24	用事や育児疲れなどでショートステイを利用する必要があるか、希望日数
問25	低学年の放課後の過ごし方について
問26	高学年の放課後の過ごし方について
問27	⇒土曜・休日の利用希望
問28	⇒長期休暇中の利用希望
問29	仕事と家庭を両立させる上では、何が必要と考えるか

就学前保護者Ⅱ (ニーズ調査項目)	
問1	お住まいの地域の学区
問2	あて名のお子さんの生年月
問3	きょうだいの数
問4	お子さんとの続柄
問5	回答者の配偶者の有無
問6	同居、近居家族 家族数
問7	暮らしの状況
問8	経済的経験
問14	身近で虐待を見たり聞いたりしたことがあるか ⇒対応
問15	虐待行為の経験
問16	定期的な教育・保育事業(幼稚園や保育所等)利用の有無/利用している事業 ⇒利用する場所、利用する理由
問17	平均病院利用回数
問18	子ども医療費助成制度の満足度
問19	子ども医療費助成制はどのような点で生活に役立っていると思うか
問20	子ども医療費助成制度について(自由記述)
問21	育児休業取得状況 ⇒育児休業を取得していない理由
問22	子育てに関しての悩みや不安
問23	子育てにかかる経済的な不安
問24	子育てに関して相談できる先 ⇒どのような相談か
問25	子育てを楽しんでいると感じるか
問26	こどもに対して思わずたいたり、こころを傷つけてしまう言動 ⇒原因
問27	育児ストレスの発散方法
問28	行政の情報発信、力を入れてほしいもの
問29	こども基本法、権利条約、こども条例の認知度

小学生保護者 (ニーズ調査項目)	
問1	お住まいの地域
問2	あて名のお子さんの生年月
問3	きょうだいの数
問4	お子さんとの続柄
問5	回答者の配偶者の有無
問6	子育てを主に行っている家族
問7	同居、近居家族 家族数
問8	暮らしの状況
問9	経済的経験
問10	親族や友人にお子さんを見てもらっている状況
問18	子ども会に入っているか ⇒入ってよかったこと、入らない理由
問19	母親・父親の就労状況・就労日数・就労時間・勤務地
問20	フルタイム勤務への転換希望
問21	病気やケガで、登校できなかったことがあるか ⇒対処方法 病児・病後児保育事業の利用希望 ⇒利用したいと思わない理由
問22	用事や育児疲れなどでショートステイを利用する必要があるか、希望日数
問23~27	放課後の過ごし方、放課後児童クラブの利用状況
問28	平均病院利用回数
問29	子ども医療費助成制度の満足度
問30	子ども医療費助成制はどのような点で生活に役立っていると思うか
問31	子ども医療費助成制度について(自由記述)
問32	子育てに関しての悩みや不安
問33	子育てに関して相談できる先 ⇒どのような相談か
問34	子育てを楽しんでいると感じるか
問35	こどもに対して思わずたいたり、こころを傷つけてしまう言動
問36	育児ストレスの発散方法
問37	行政の情報発信、力を入れてほしいもの

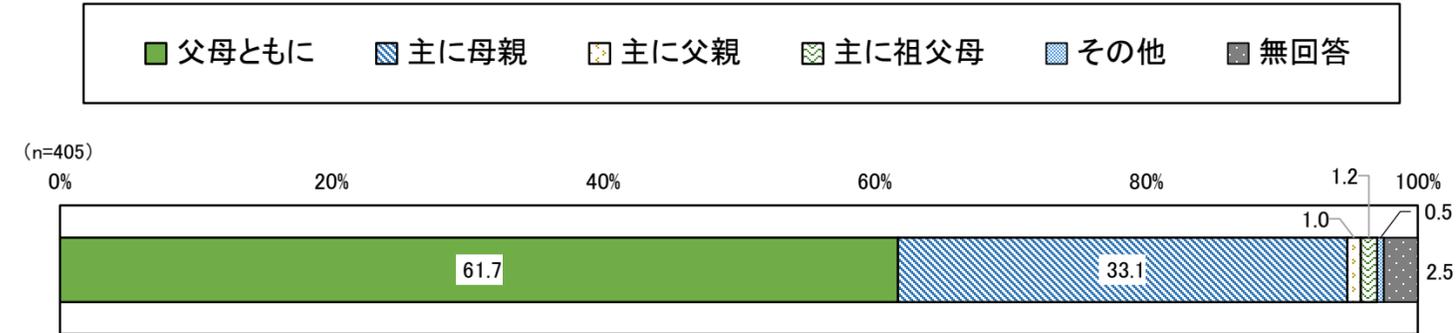
1. 主に子育てしている人

【就学前保護者】



「父母ともに」が62.3%で最も多く、次いで「主に母親」が36.8%、「主に父親」が0.4%、「主に祖父母」が0.2%となっています。

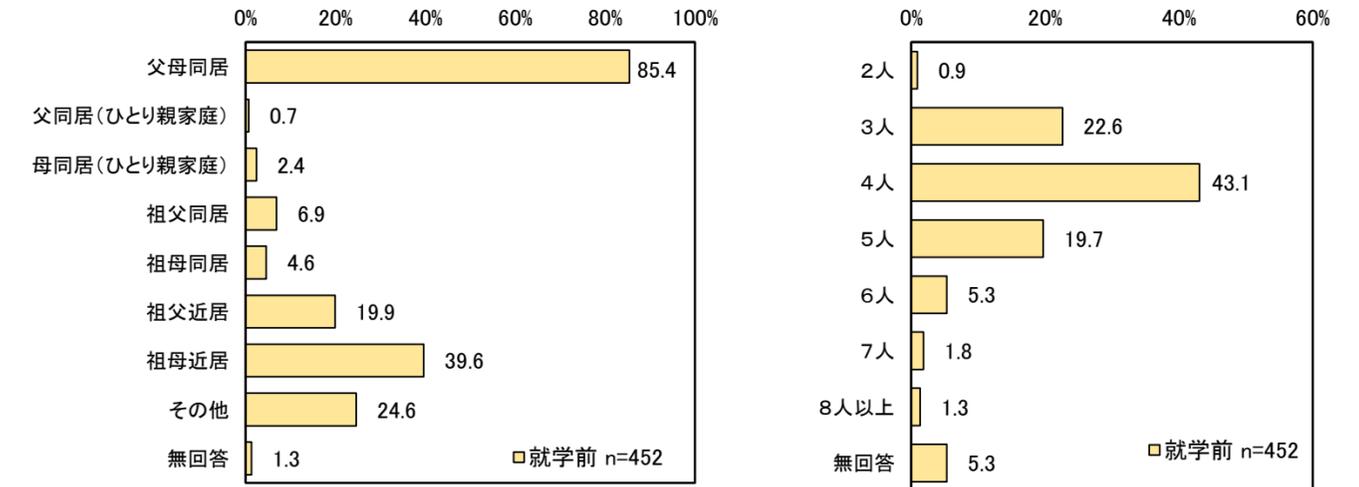
【小学生保護者】



「父母ともに」が61.7%で最も多く、次いで「主に母親」が33.1%、「主に祖父母」が1.2%、「主に父親」が1.0%となっています。

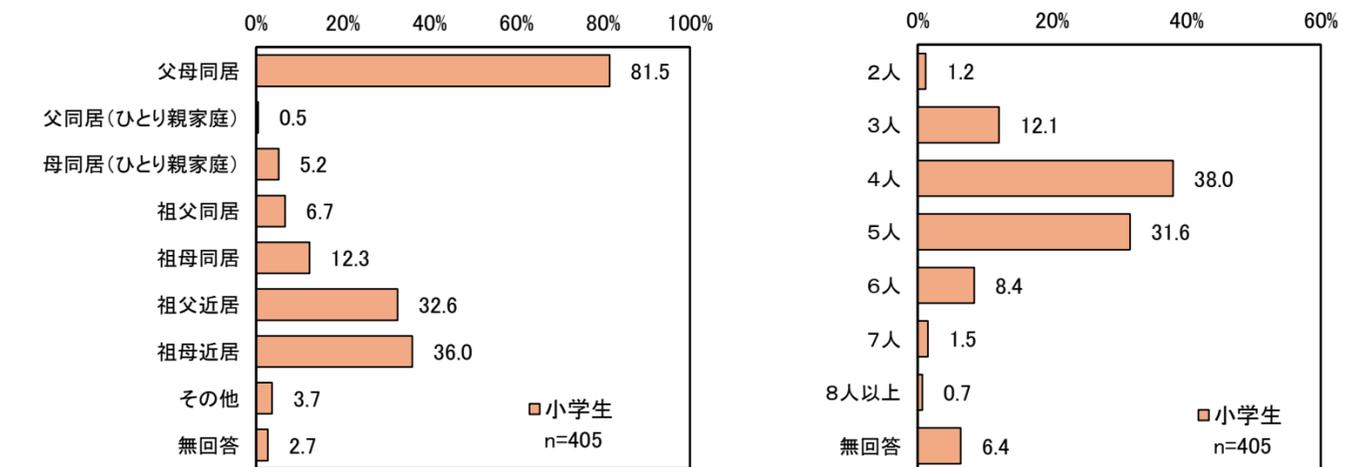
2. 同居、近居の状況と同居の家族人数

【就学前保護者】



就学前調査票では、「父母同居」が85.4%で最も多く、次いで「祖母近居」が39.6%、「その他」が24.6%、「祖父近居」が19.9%、「祖父同居」が6.9%となっています。

【小学生保護者】

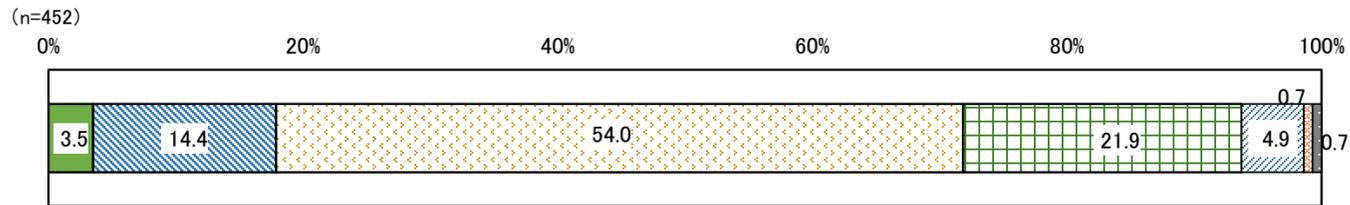


小学生は、「父母同居」が81.5%で最も多く、次いで「祖母近居」が36.0%、「祖父近居」が32.6%、「祖母同居」が12.3%、「祖父同居」が6.7%となっています。

3. 経済状況

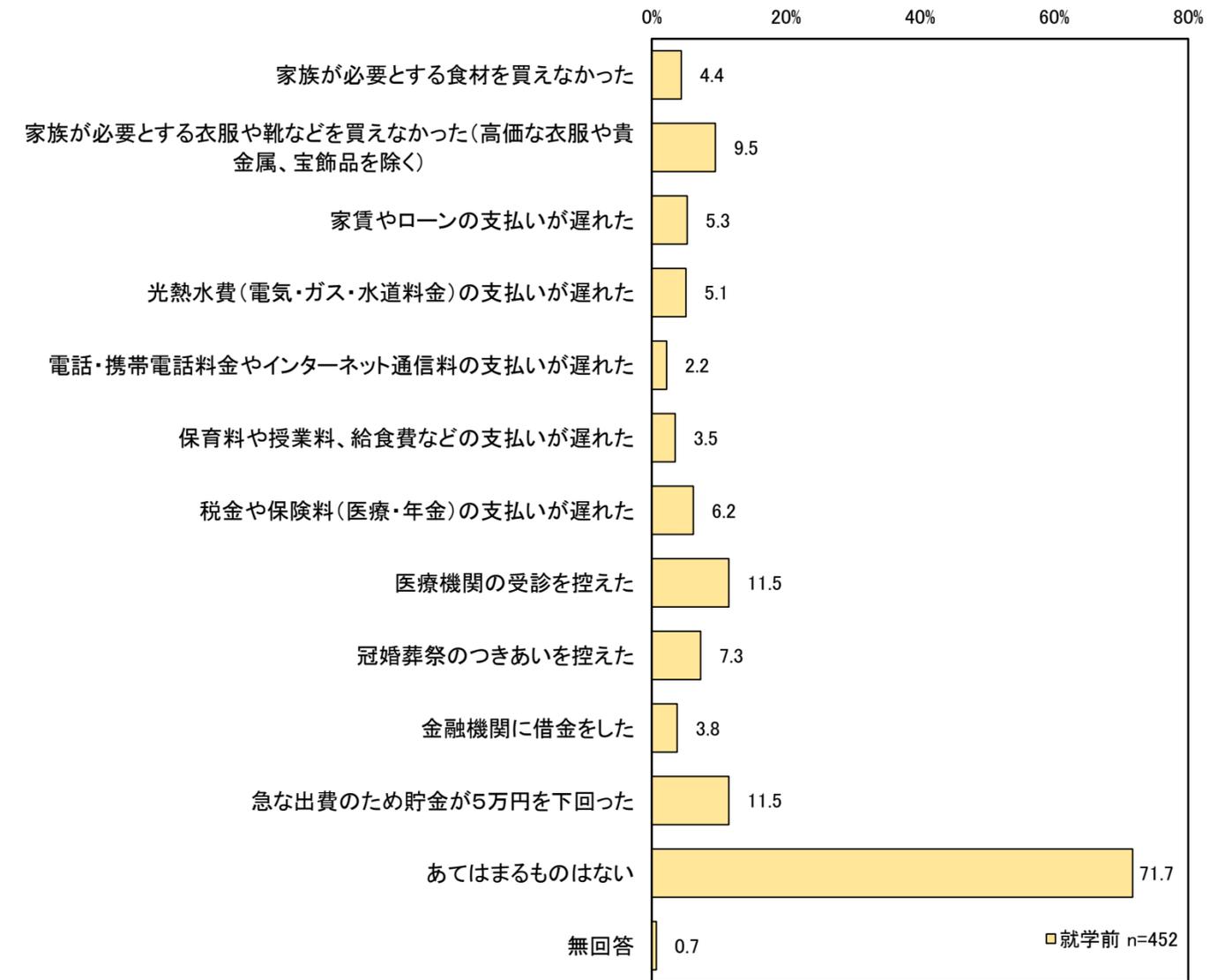
問 あなたは現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

【就学前保護者】



「ふつう」が54.0%で最も多く、次いで「苦しい」が21.9%、「ゆとりがある」が14.4%、「大変苦しい」が4.9%、「大変ゆとりがある」が3.5%となっています。

4. 経済的な経験



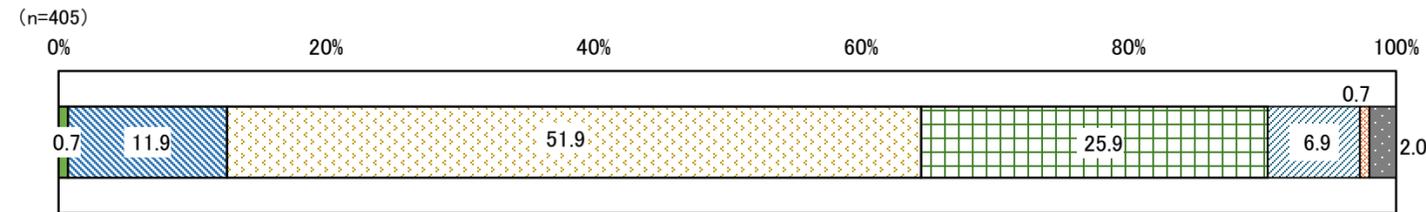
「あてはまるものはない」が71.7%で最も多く、次いで「医療機関の受診を控えた」が11.5%、「急な出費のため貯金が5万円を下回った」が11.5%、「家族が必要とする衣服や靴などを買えなかった(高価な衣服や貴金属、宝飾品を除く)」が9.5%、「冠婚葬祭のつきあいを控えた」が7.3%となっています。

3. 経済状況

問 あなたは現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

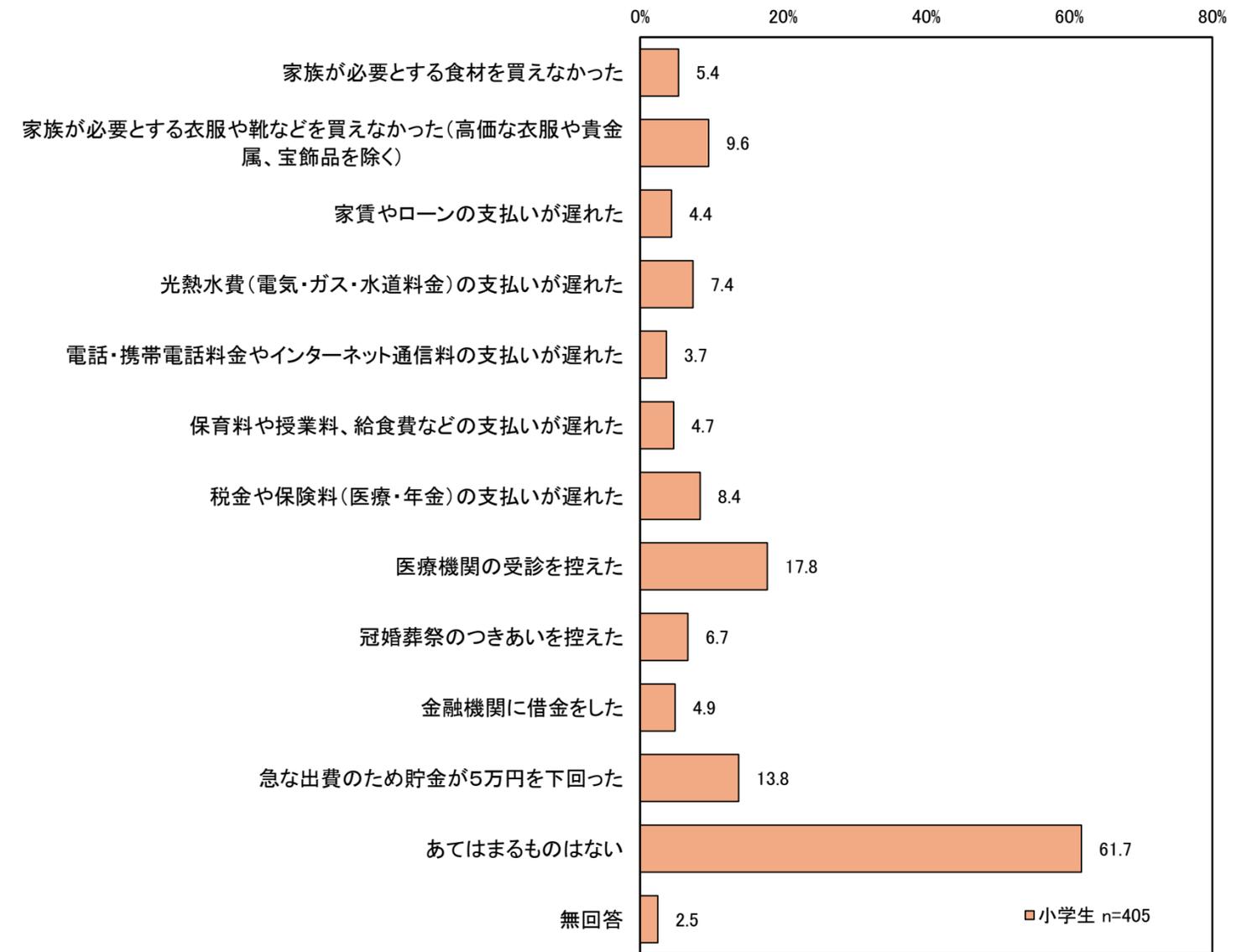
【小学生保護者】

■ 大変ゆとりがある ■ ゆとりがある ■ ふつう ■ 苦しい ■ 大変苦しい ■ 答えたくない ■ 無回答



「ふつう」が51.9%で最も多く、次いで「苦しい」が25.9%、「ゆとりがある」が11.9%、「大変苦しい」が6.9%、「大変ゆとりがある」が0.7%となっています。

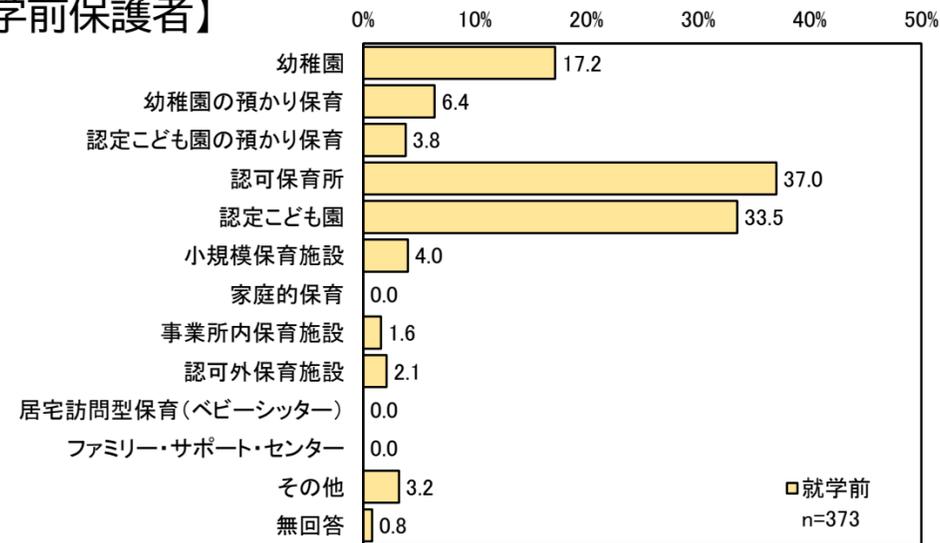
4. 経済的な経験



「あてはまるものはない」が61.7%で最も多く、次いで「医療機関の受診を控えた」が17.8%、「急な出費のため貯金が5万円を下回った」が13.8%、「家族が必要とする衣服や靴などを買えなかった(高価な衣服や貴金属、宝飾品を除く)」が9.6%、「税金や保険料(医療・年金)の支払いが遅れた」が8.4%となっています。

5. 定期的にご利用している幼稚園・保育所等

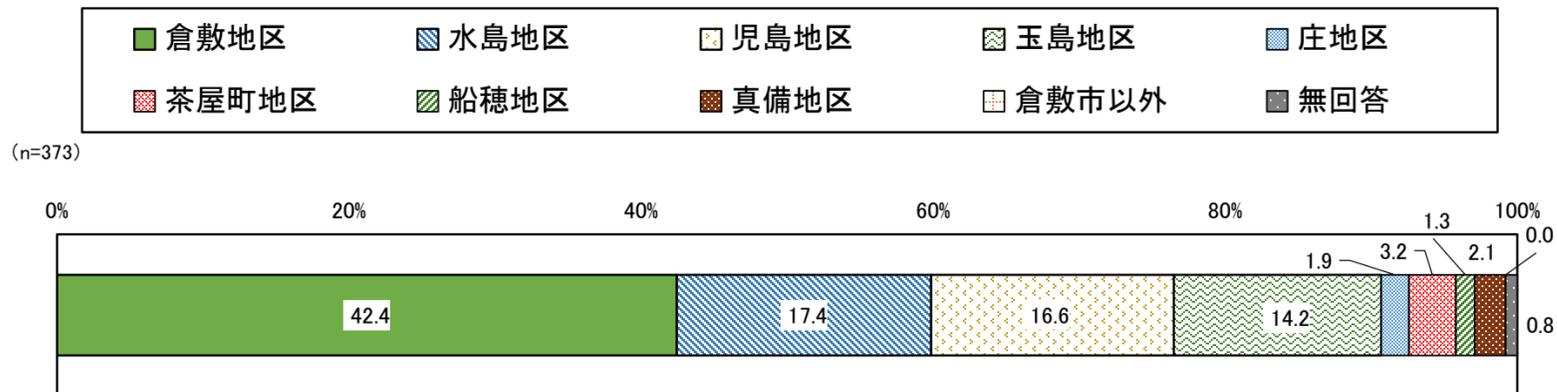
【就学前保護者】



「認可保育所」が37.0%で最も多く、次いで「認定こども園」が33.5%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が17.2%、「幼稚園の預かり保育」が6.4%、「小規模保育施設」が4.0%となっています。

6. 利用している場所

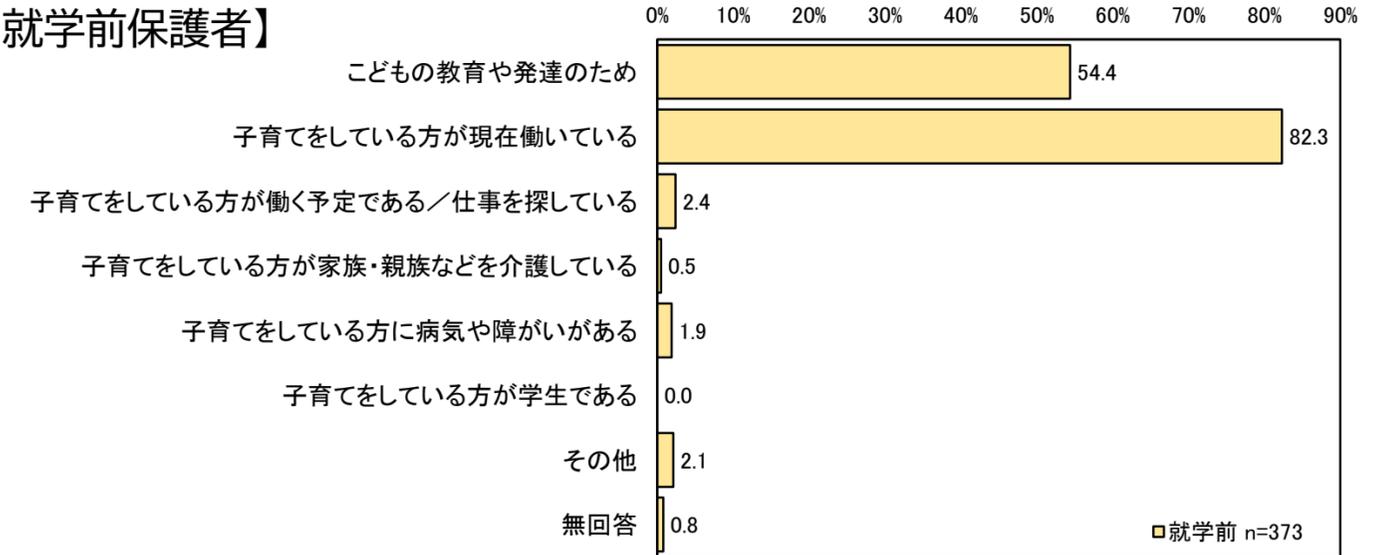
【就学前保護者】



「倉敷地区」が42.4%で最も多く、次いで「水島地区」が17.4%、「児島地区」が16.6%、「玉島地区」が14.2%、「茶屋町地区」が3.2%となっています。

7. 幼稚園・保育所等を利用する理由

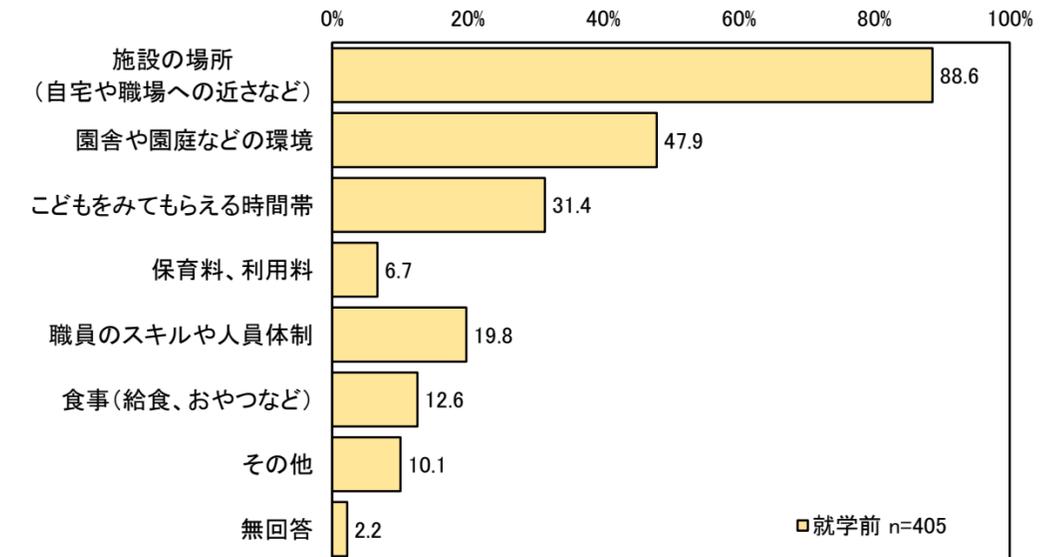
【就学前保護者】



「子育てをしている方が現在働いている」が82.3%で最も多く、次いで「こどもの教育や発達のため」が54.4%、「子育てをしている方が働く予定である／仕事を探している」が2.4%となっています。

8. 幼稚園や保育所等を選んだ理由

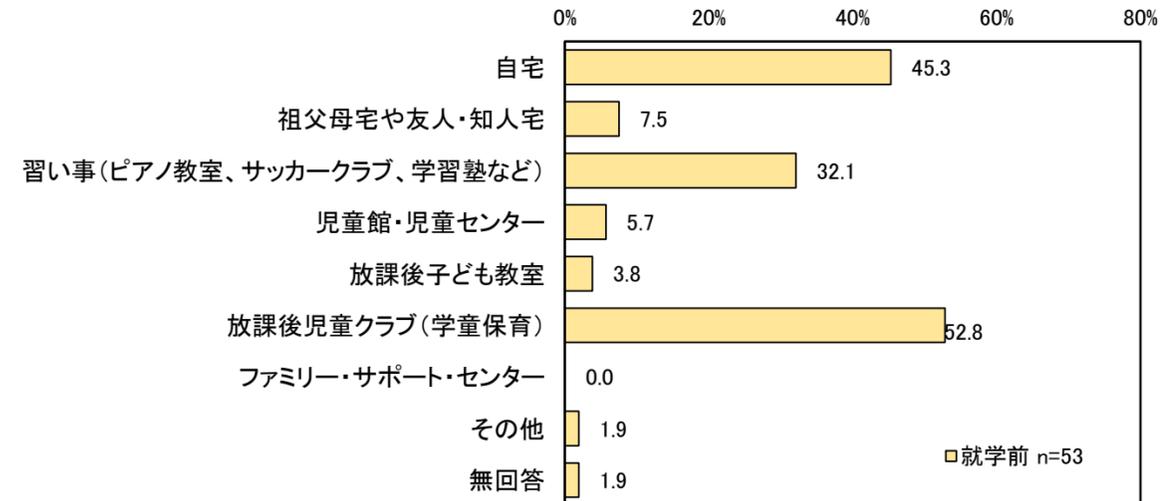
【就学前保護者】



「施設の場所（自宅や職場への近さなど）」が88.6%で最も多く、次いで「園舎や園庭などの環境」が47.9%、「こどもをみてもらえる時間帯」が31.4%、「職員のスキルや人員体制」が19.8%、「食事（給食、おやつなど）」が12.6%となっています。

9. 希望する放課後の過ごし方(小学校低学年時)

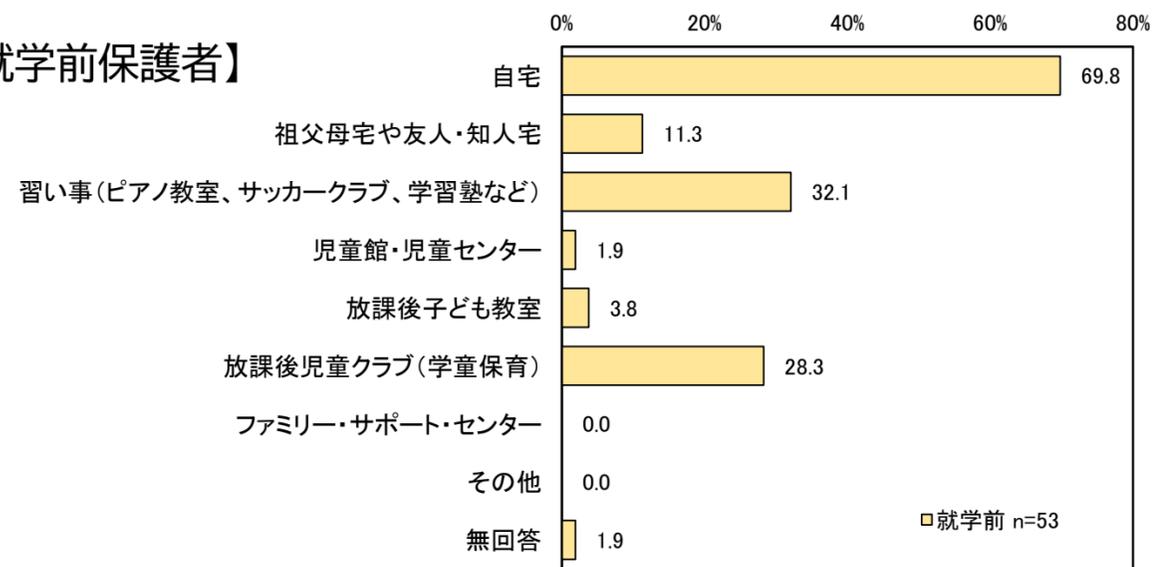
【就学前保護者】



「放課後児童クラブ(学童保育)」が52.8%で最も多く、次いで「自宅」が45.3%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が32.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」が7.5%、「児童館・児童センター」が5.7%となっています。

10. 希望する放課後の過ごし方(小学校高学年時)

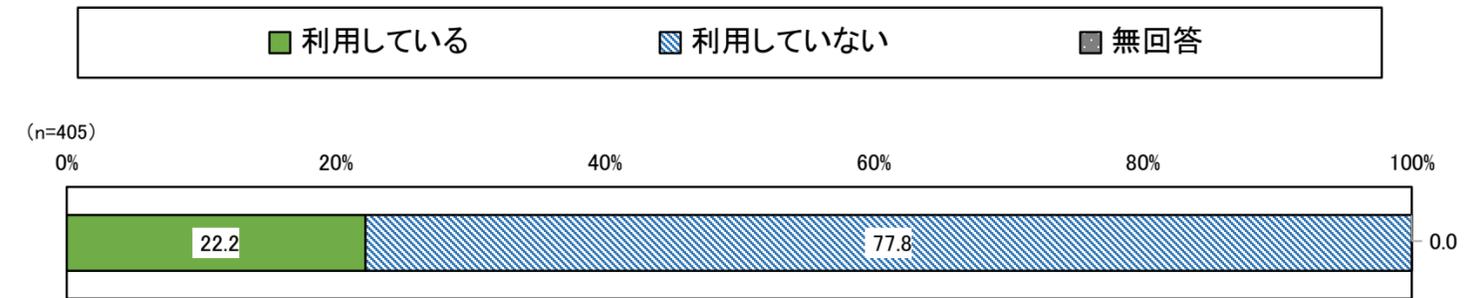
【就学前保護者】



「自宅」が69.8%で最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が32.1%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が28.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.3%、「放課後子ども教室」が3.8%となっています。

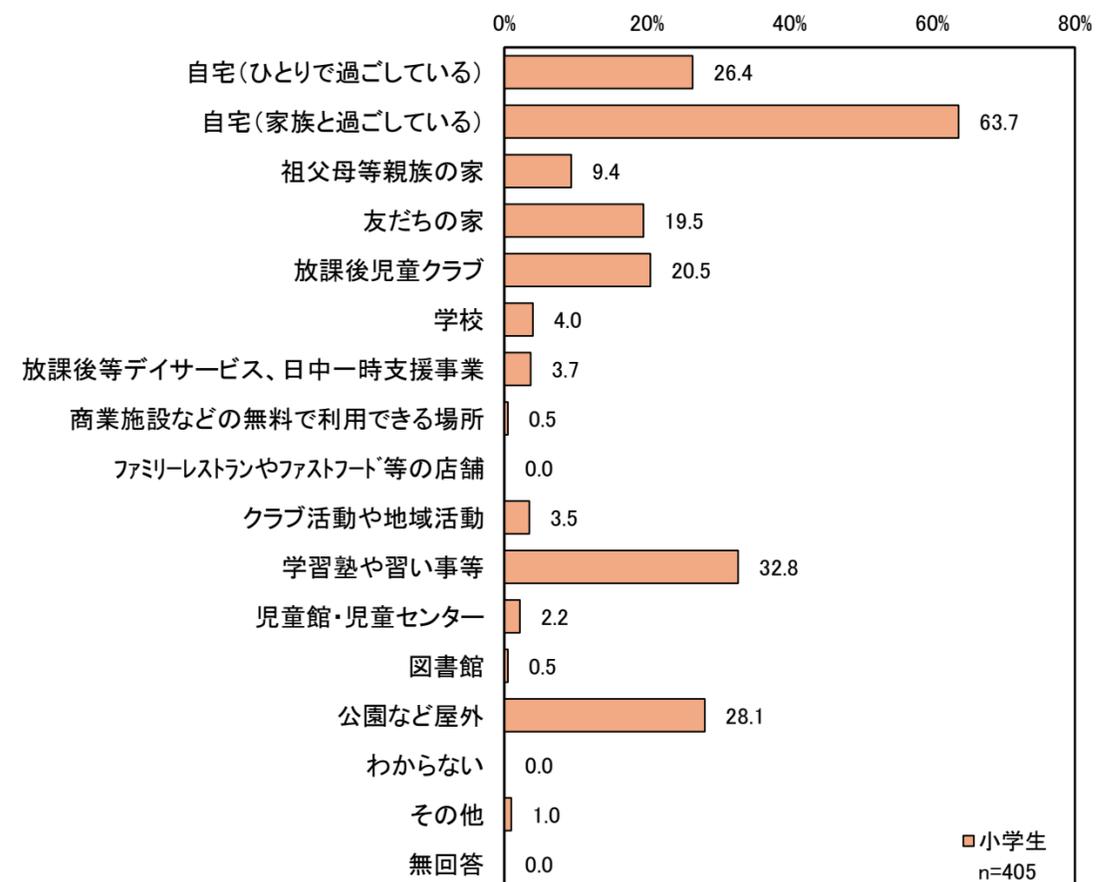
11. 小学生の放課後児童クラブの利用状況

【小学生保護者】



「利用していない」が77.8%で最も多く、次いで「利用している」が22.2%となっています。

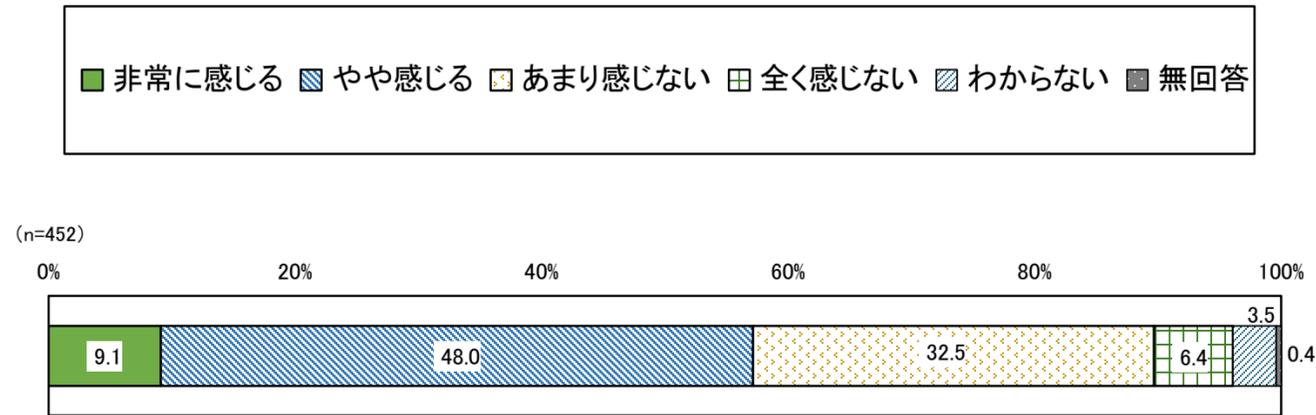
12. 小学生の放課後の過ごし方(休日含む)



「自宅(家族と過ごしている)」が63.7%で最も多く、次いで「学習塾や習い事等」が32.8%、「公園など屋外」が28.1%、「自宅(ひとりで過ごしている)」が26.4%、「放課後児童クラブ」が20.5%となっています。

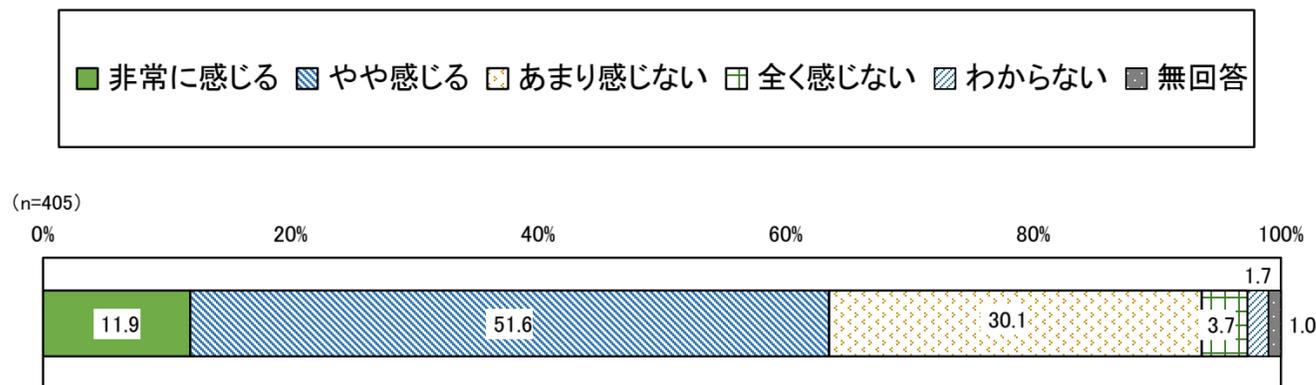
13. 子育てに関するの悩みや不安について

【就学前保護者】



「やや感じる」が48.0%で最も多く、次いで「あまり感じない」が32.5%、「非常に感じる」が9.1%、「全く感じない」が6.4%、「わからない」が3.5%となっています。

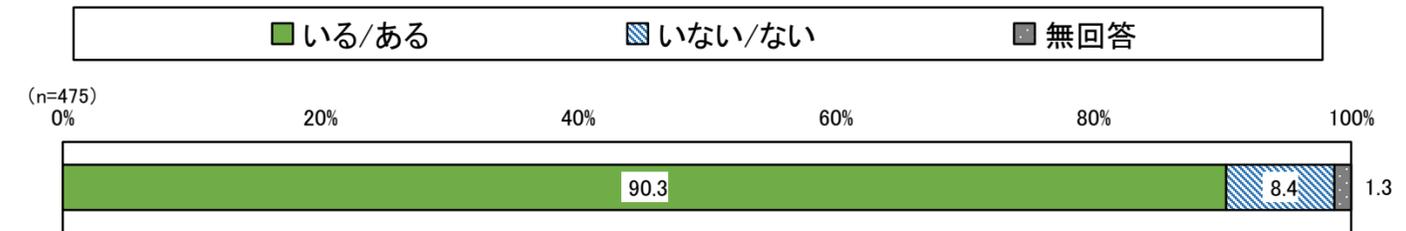
【小学生保護者】



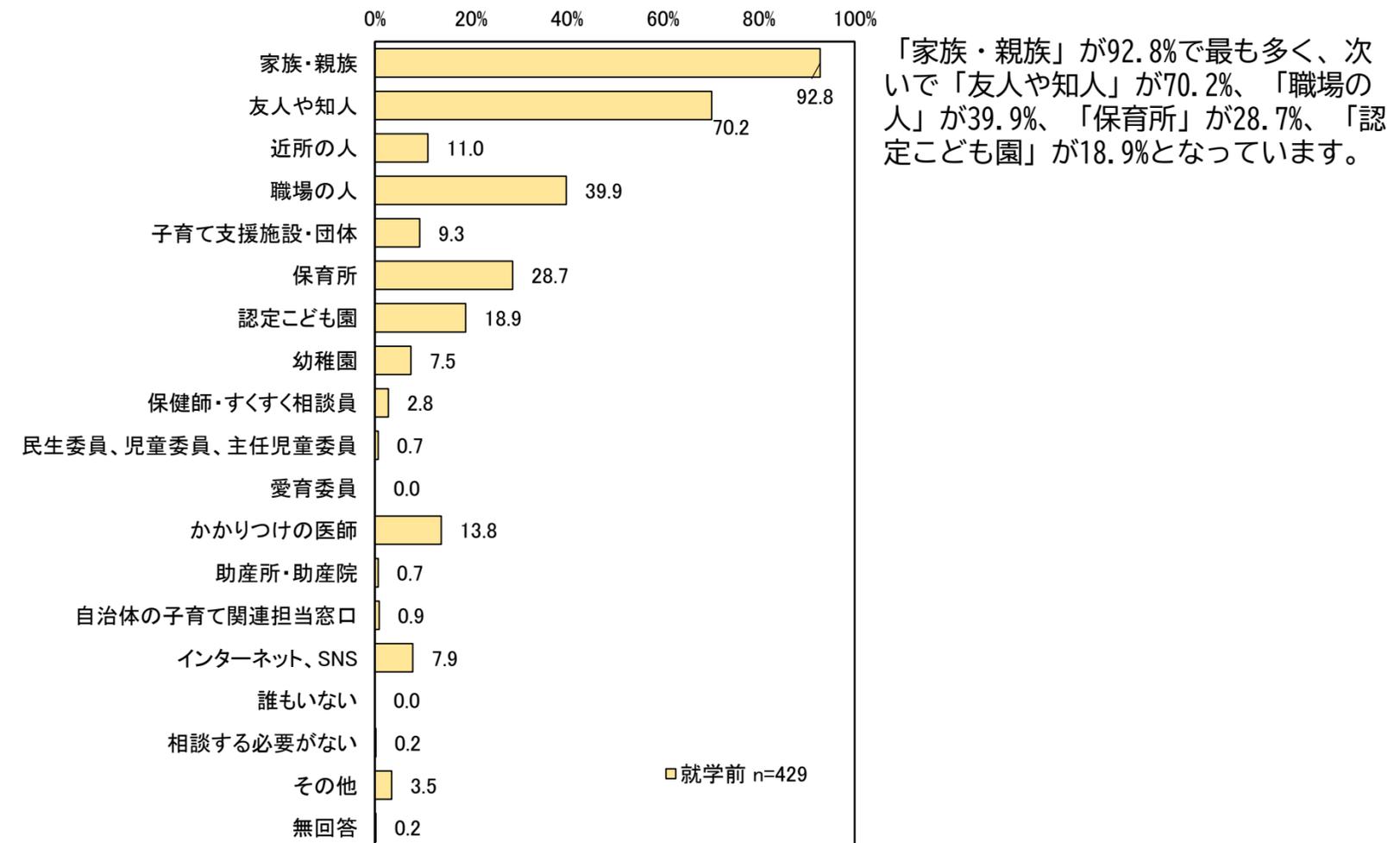
「やや感じる」が51.6%で最も多く、次いで「あまり感じない」が30.1%、「非常に感じる」が11.9%、「全く感じない」が3.7%、「わからない」が1.7%となっています。

14. 気軽に相談できる人または、場所について

【就学前保護者】



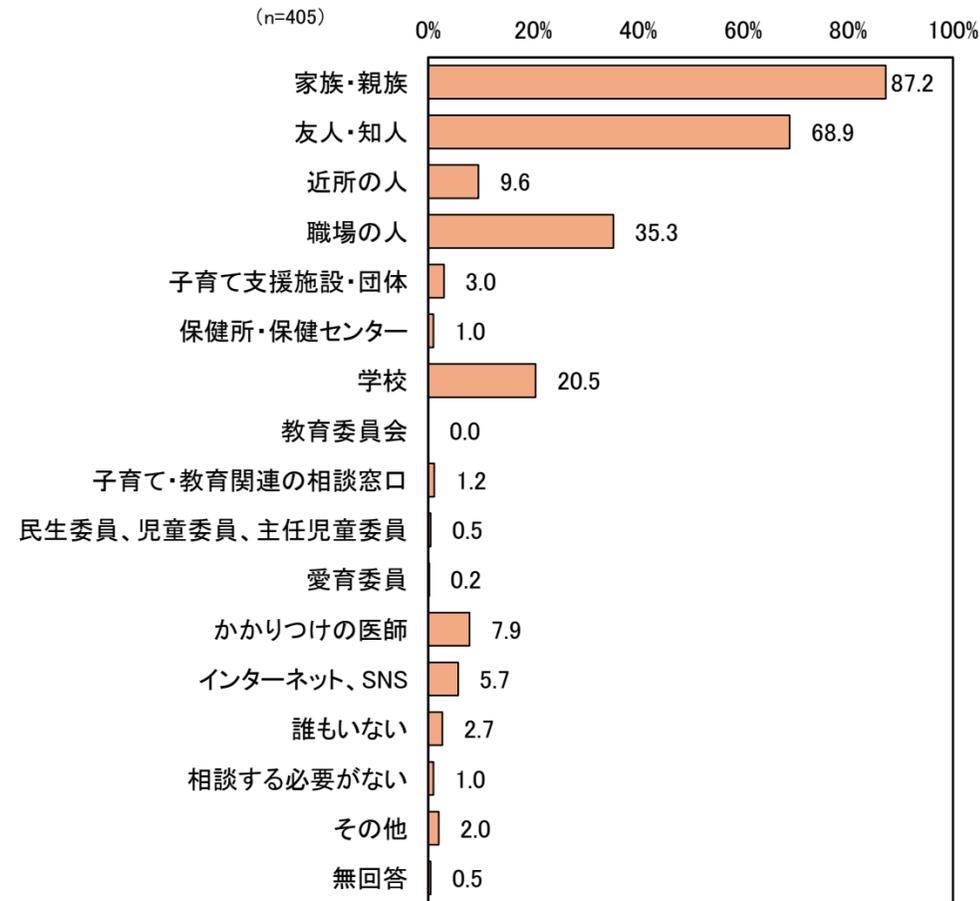
「いる/ある」が90.3%で最も多く、次いで「いない/ない」が8.4%となっています。



「家族・親族」が92.8%で最も多く、次いで「友人や知人」が70.2%、「職場の人」が39.9%、「保育所」が28.7%、「認定こども園」が18.9%となっています。

15. 気軽に相談できる人または、場所について

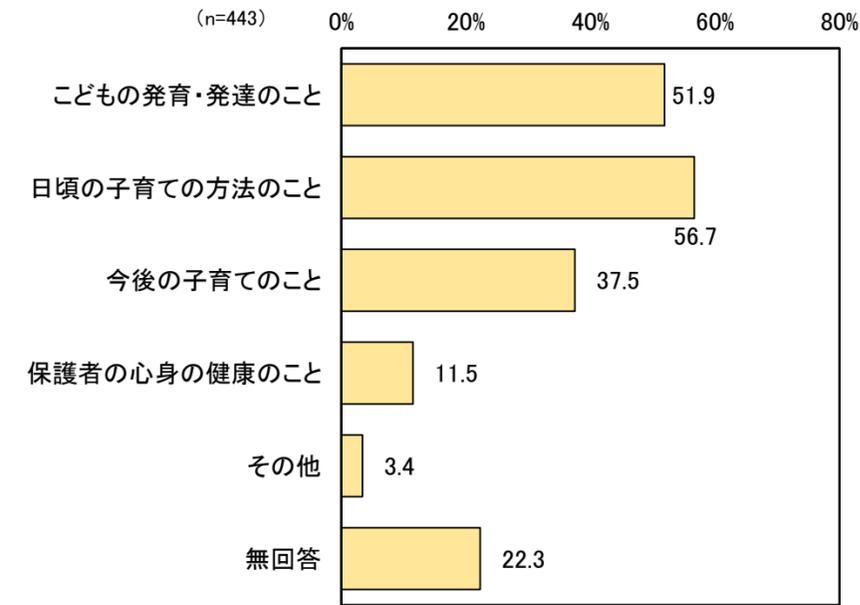
【小学生保護者】



「家族・親族」が87.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が68.9%、「職場の人」が35.3%、「学校」が20.5%、「近所の人」が9.6%となっています。

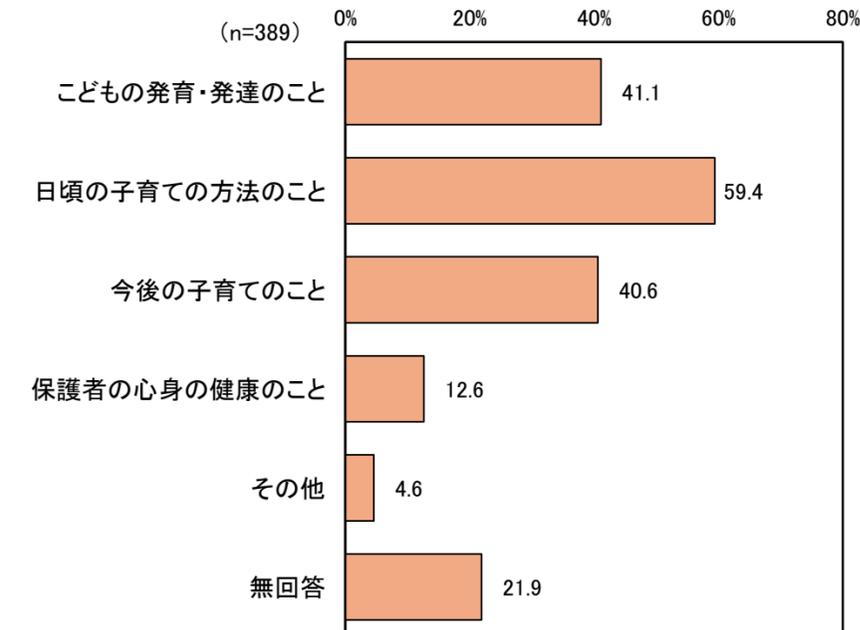
16. 相談内容

【就学前保護者】



「日頃の子育ての方法のこと」が56.7%で最も多く、次いで「こどもの発育・発達のこと」が51.9%、「今後の子育てのこと」が37.5%、「保護者の心身の健康のこと」が11.5%となっています。

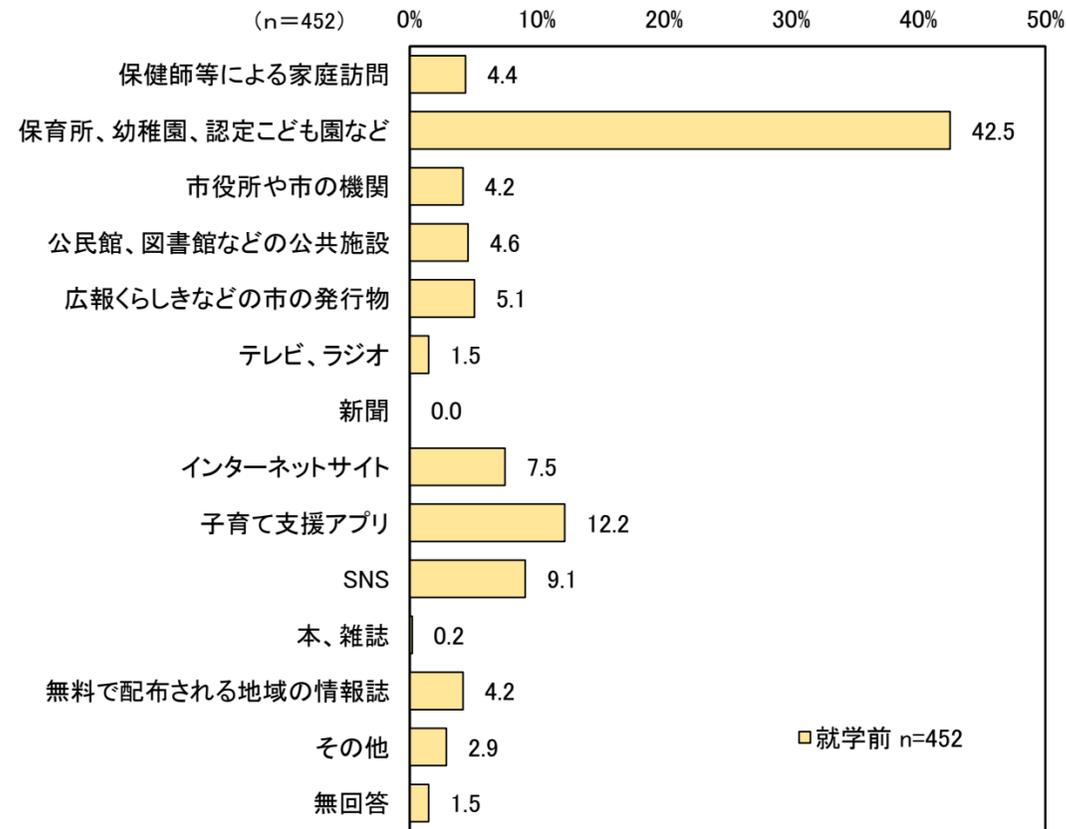
【小学生保護者】



「日頃の子育ての方法のこと」が59.4%で最も多く、次いで「こどもの発育・発達のこと」が41.1%、「今後の子育てのこと」が40.6%、「保護者の心身の健康のこと」が12.6%となっています。

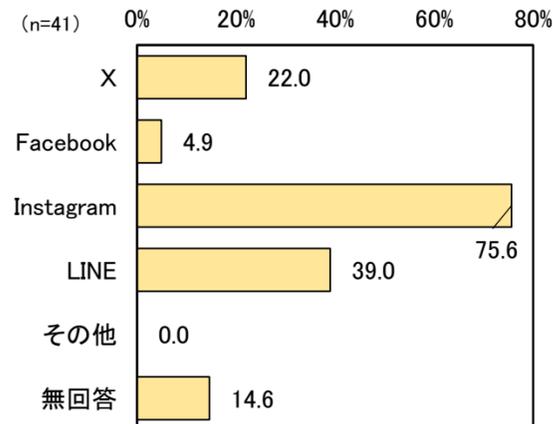
17. より力を入れてほしい子育てに関する情報発信の手段(場所)

【就学前保護者】

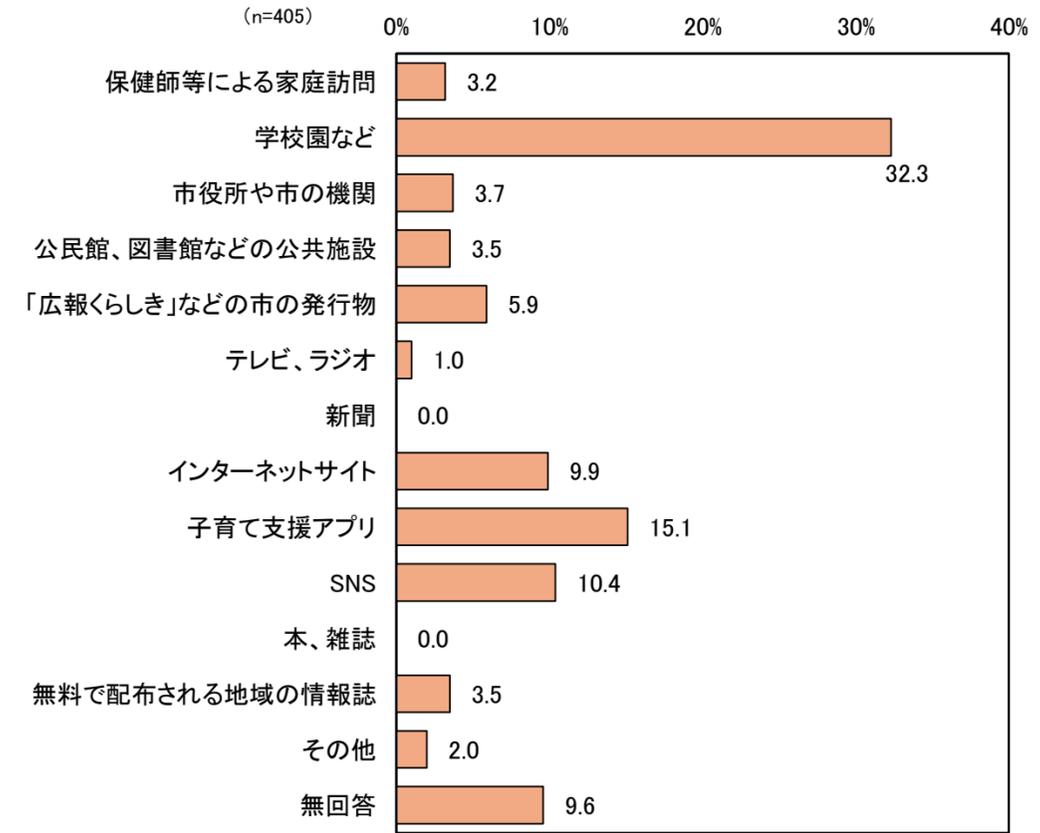


「保育所、幼稚園、認定こども園など」が42.5%で最も多く、次いで「子育て支援アプリ」が12.2%、「SNS」が9.1%、「インターネットサイト」が7.5%、「広報くらしきなどの市の発行物」が5.1%となっています。

SNSと回答した内訳は、「Instagram」が75.6%で最も多く、次いで「LINE」が39.0%、「X」が22.0%、「Facebook」が4.9%となっています。

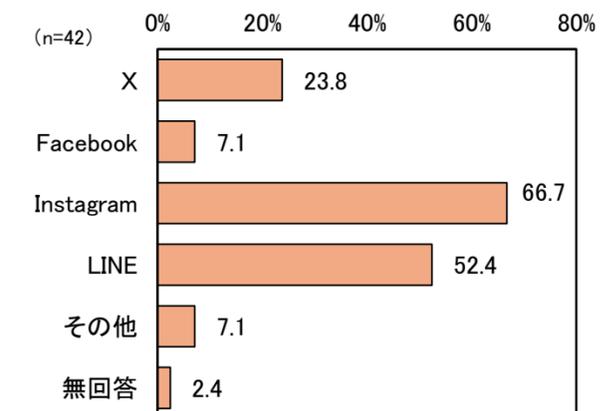


【小学生保護者】



「学校園など」が32.3%で最も多く、次いで「子育て支援アプリ」が15.1%、「SNS」が10.4%、「インターネットサイト」が9.9%、「「広報くらしき」などの市の発行物」が5.9%となっています。

SNSと回答した内訳は、「Instagram」が66.7%で最も多く、次いで「LINE」が52.4%、「X」が23.8%、「Facebook」が7.1%となっています。

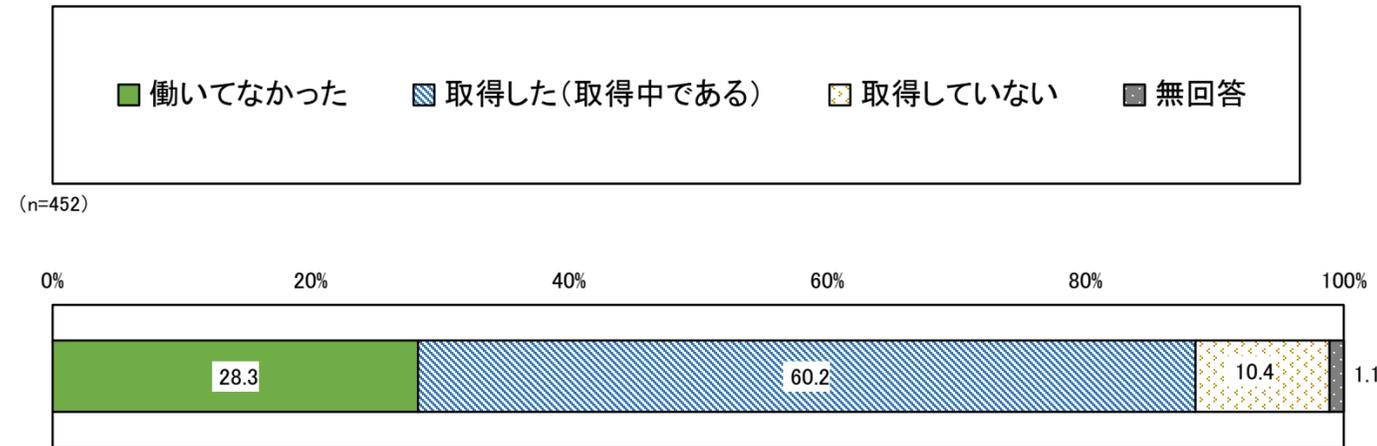


18-1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度<母親>

問 お子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【就学前保護者】

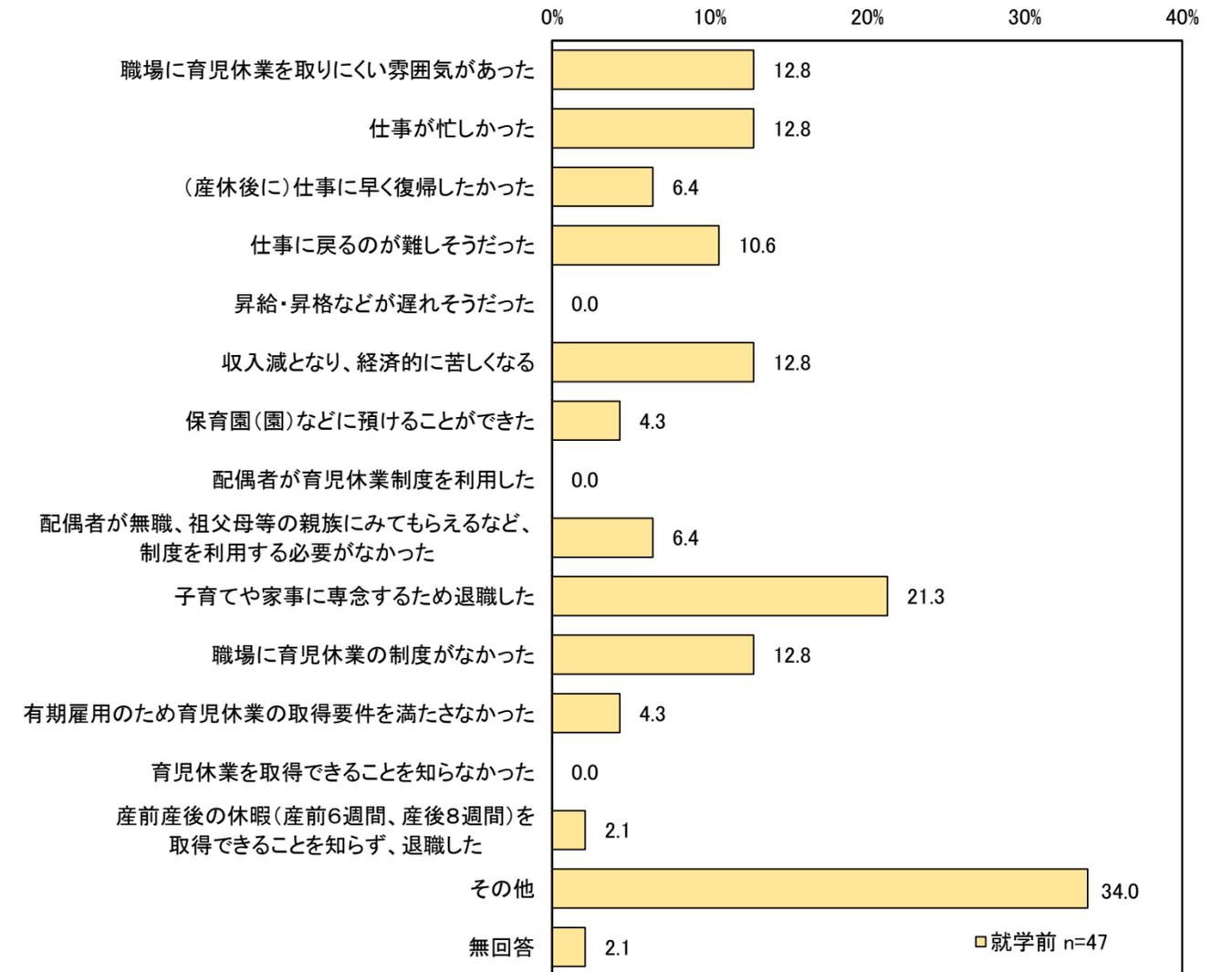
●母親の育児休業取得状況



「取得した(取得中である)」が60.2%で最も多く、次いで「働いてなかった」が28.3%、「取得していない」が10.4%となっています。

3. 取得していない

問 「取得していない」を選ばれた理由について、どういったものですか。【〇は1つだけ】



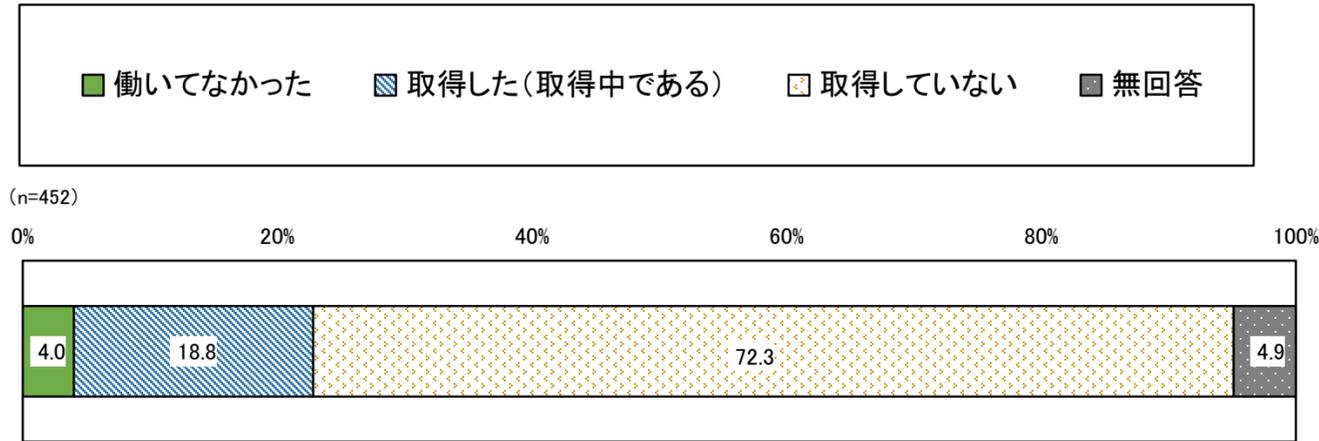
「子育てや家事に専念するため退職した」が21.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が12.8%、「仕事が忙しかった」が12.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が12.8%となっています。

18-2. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度<父親>

問 お子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【就学前保護者】

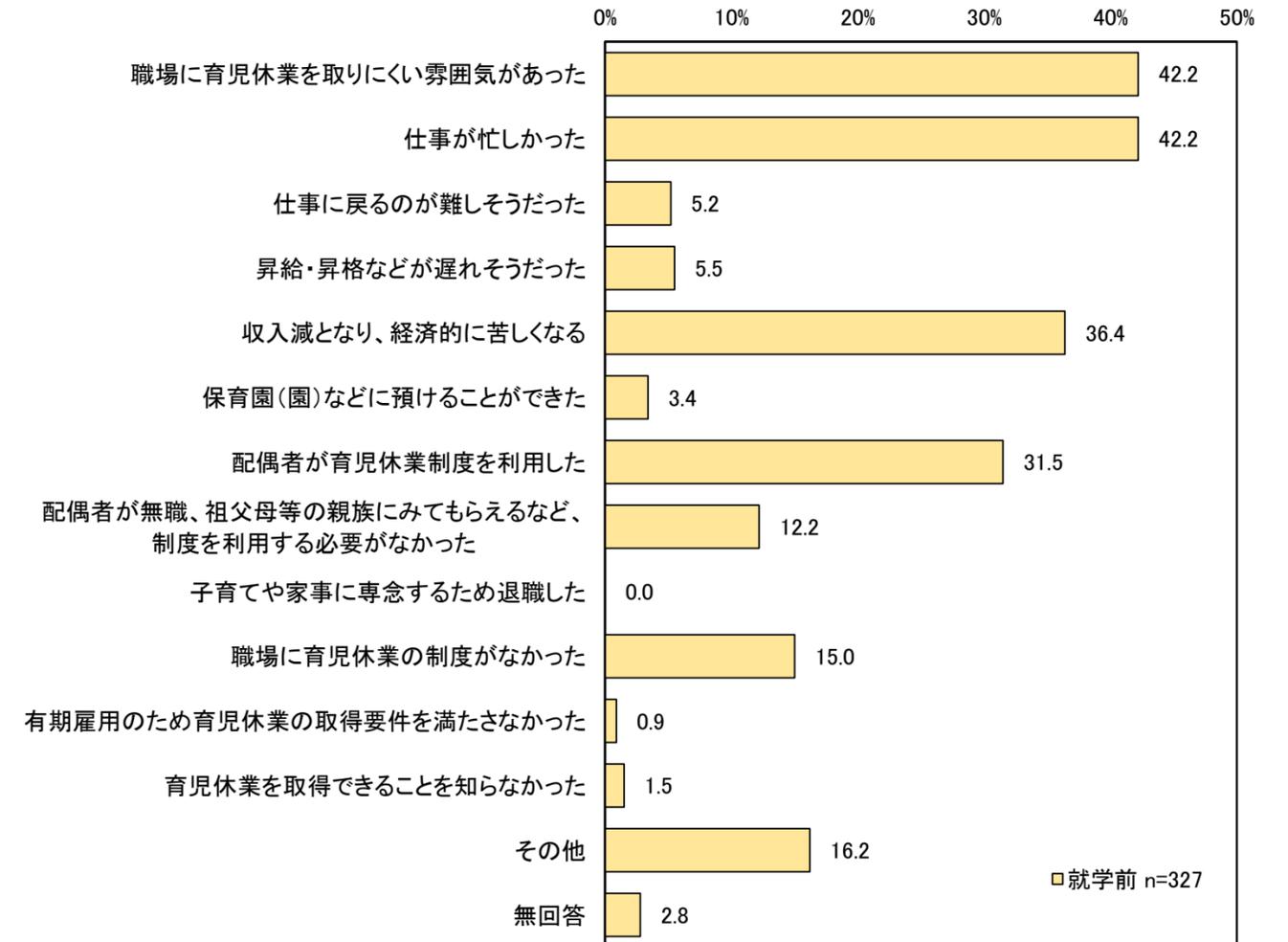
●父親の育児休業取得状況



「取得していない」が72.3%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が18.8%、「働いてなかった」が4.0%となっています。

3. 取得していない

問 「取得していない」を選ばれた理由について、どういったものですか。【〇は1つだけ】

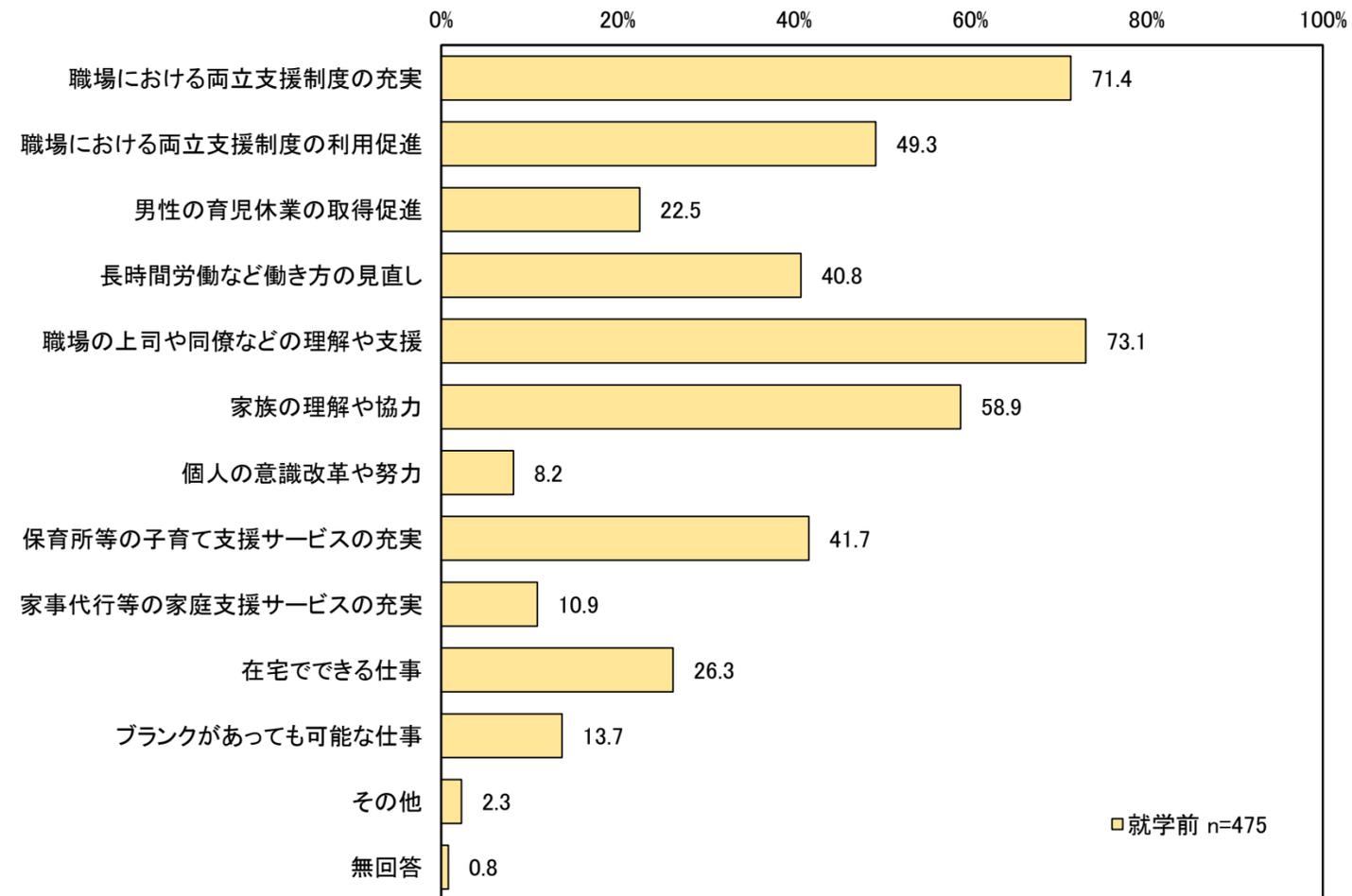


「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」が42.2%で最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が36.4%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が31.5%となっています。

18-3. 育児との両立に必要なこと

問 仕事と家庭を両立させる上では、何が必要と考えますか。

【就学前保護者】



「職場の上司や同僚などの理解や支援」が73.1%で最も多く、次いで「職場における両立支援制度の充実」が71.4%、「家族の理解や協力」が58.9%、「職場における両立支援制度の利用促進」が49.3%、「保育所等の子育て支援サービスの充実」が41.7%となっています。

2 子どもの意識と生活に関する調査について

1 調査の目的

本調査は、倉敷市の未来を創る子どもたちの健やかな成長を支え、将来の可能性をより高めるために、子どもの生活実態や家庭の状況を含めた子育て世帯の生活環境・経済状況を調査し、子育て支援施策の充実を図るための基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査対象と調査方法

調査票の種類	調査対象・調査方法
就学前児童保護者調査票Ⅱ（再掲） ※一部二重調査含む	<ul style="list-style-type: none"> 倉敷市に在住する就学前児童の保護者（無作為抽出） 郵送配布、郵送改修及びWeb回答
小学生保護者調査票（再掲） ※一部二重調査含む	<ul style="list-style-type: none"> 倉敷市に在住する小学生の保護者（無作為抽出） 郵送配布、郵送改修及びWeb回答 一部小学生本人が回答する設問あり
中学生・高校生の意識と生活に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> 倉敷市に在住する中学生・高校生（無作為抽出） 郵送配布、郵送改修及びWeb回答
こども・若者等意識と生活に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> 倉敷市に在住する18歳～49歳（無作為抽出） 郵送配布、郵送回収及びWeb回答

3 調査期間

令和6年2月9日 ～ 令和6年2月26日

4 回収結果

調査票の種類	配布数	有効回収数	有効回答率
就学前児童保護者調査票Ⅱ（再掲）	1,000	452	45.2%
小学生保護者調査票（再掲）	1,000	405	40.5%
中学生・高校生の意識と生活に関する調査	1,000	289	28.9%
こども・若者等意識と生活に関する調査	1,000	244	24.4%

倉敷市 中学生・高校生の意識と生活に関する調査 （ご協力のお願い）

このアンケートは、倉敷・児島・玉島・水島地区ごとに無作為に選ばせていただき、中学生や高校生のみなさんの、ふだんの生活のことや、どんなことを思っているのかについて質問します。

みなさんが安心していきいきと暮らせるような倉敷市をつくる（計画の策定など）ために行うアンケートですので、ぜひ協力をしてください。

なお、回答いただいた調査内容は、統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

令和6年2月 倉敷市長 伊東 香織

【おねがい】

- この用紙には、名前を書かないでください。
- 回答は、自分自身が思うことをお答えください。
- アンケートは、令和6年2月16日（金）までに回答（投函）してください。
- 用紙への記入か、インターネットでの入力か、どちらか1つだけで回答してください。

【回答方法】

▼アンケートの紙で回答する場合



- ①アンケート用紙に書き込む ②返信用封筒にアンケートを入れる ③ポストに入れる

▼インターネットで回答する場合



- ①上の二次元バーコードを読み取る ②パソコンやスマホで回答を入力して送信する

※回答回数は1回までです

アンケートの内容や答え方でわからないことがある場合

【問い合わせ先】調査業務委託会社：Next-i 株式会社 電話：086-230-0600（平日9：00～18：00）

【調査主体】倉敷市保健福祉局 子ども未来部 子育て支援課 電話：086-426-3314

項目一覧(意識と生活に関する調査項目)

就学前保護者Ⅱ (意識と生活に関する項目)	
問9	(お子さんの)起床・就寝平均睡眠時間
問10	1週間の朝食
問11	週のはみがき
問12	絵本の読み聞かせ
問13	テレビやインターネット時間

…P18～32における抜粋項目

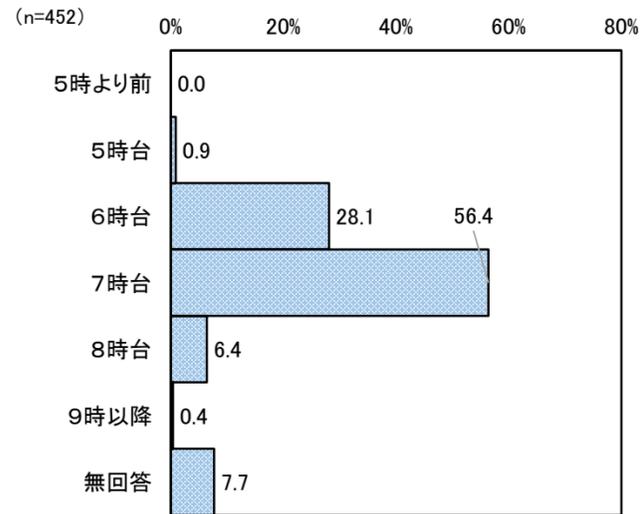
小学生保護者、本人 (意識と生活に関する項目)	
問11	(お子さんの)起床・就寝平均睡眠時間
問12	1週間の朝食
問13	週のはみがき
問14	テレビやインターネット時間
問15	家族との会話
問16	お子さんの話を聞いているか
問17	近隣の人とのコミュニケーション
問38	将来なりたい大人とは(以下小学生本人回答)
問39	こどもの権利についての認知度
問40	おうちの人は、自分の話を聞いてくれるか
問41	学校の友達との関わり方について
問42	自分にとって大切だと思うこと
問43	倉敷市に自分の意見を伝えたいか ⇒どのような方法で伝えたいか

中学生	
問1	年齢
問2	性別
問3	同居している人
問4	家族の数
問5	学校や仕事のことについて
問6	放課後・休日の過ごし方
問7	理想の居場所
問8	今のあなたの「居場所」
問9	あなたの健康状態
問10	学校への通学状況
問11	起床・就寝平均睡眠時間
問12	1週間の朝食 ⇒朝食を食べていない理由
問13	家族との会話
問14	家族はあなたの話をよく聞いてくれるか
問15	近隣の人とのコミュニケーション
問16	現在悩んだり、困ったりしていること
問17	悩み・困りごとに聞いてくれる家族や親せき
問18	日常的にお世話をしている家族がいるか ⇒お世話をすることについて ⇒やりたいこと・できないことがあるか ⇒お世話をしていることの悩みを相談したことはあるか ⇒誰に相談したか ⇒学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援はあるか
問19	ヤングケアラーの認知度
問20	専用のスマホを持っているか
問21	専用のパソコンを持っているか
問22	スマホやパソコンの使用時間 ⇒インターネットで何をしているか ⇒トラブルや困ったことがあるか ⇒どのようなトラブルか ⇒トラブルを誰に相談したか ⇒利用制限を設定しているか
問23	こども基本法、権利条約、こども条例の認知度
問24	倉敷市に自分の意見を伝えたいか ⇒どのような方法で伝えたいか
問25	⇒どのような工夫ルールがあればいいか
問26	あなた自身についてあてはまるもの(4)
問27	自分の将来について明るい希望があるか ⇒希望がないと思う理由
問28	あなた自身についてあてはまるもの(15)

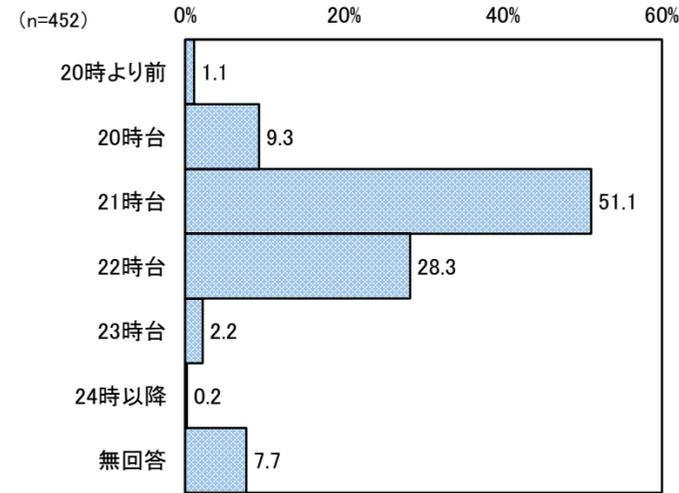
若者等(18～49歳)	
問1	年齢
問2	性別
問3	同居している人
問4	家族の数
問5	卒業した学校
問6	あなたの現在の状況 あなたの就労状況
問7	生活水準について
問8	理想の「居場所」
問9	今のあなたの「居場所」
問10	あなたの健康状態
問11	起床・就寝平均睡眠時間
問12	1週間の朝食
問13	家族との会話
問14	家族はあなたの話をよく聞いてくれるか
問15	近隣の人とのコミュニケーション
問16	どのくらい外出しているか ⇒そのような状況になってどのくらい経つか ⇒現在の状況になった主な理由
問17	ヤングケアラーの認知度
問18	スマホやパソコンの使用時間
問19	トラブルや困ったことがあるか ⇒どのようなトラブルか ⇒トラブルを誰に相談したか
問20	こども基本法、権利条約、こども条例の認知度
問21	倉敷市に自分の意見を伝えたいか ⇒どのような方法で伝えたいか
問22	どのような工夫ルールがあればいいか
問23	現在悩んだり、困ったりしていることがあるか ⇒相談に乗ってくれたり話をきいてくれるひとが身近にいるか
問24	あなた自身についてあてはまるもの(4)
問25	自分の将来について明るい希望があるか
問26	あなた自身についてあてはまるもの(15)
問27	結婚について、現在の状況 ⇒結婚を決めたきっかけ 配偶者(パートナー)の就労状況 ⇒結婚をしない理由
問28	お子さんがいるか お子さんの人数
問29	あなたが持ちたいと思うお子さんの人数
問30	こどもを持つことに対するイメージについて
問31	子育てにかかる費用で負担を感じているもの
問32	こども・若者支援についてどのようなことに取り組んでほしいか

1. 生活状況—登園・学校、予定(仕事)がある人の起床・就寝時刻

【就学前/起床時刻】

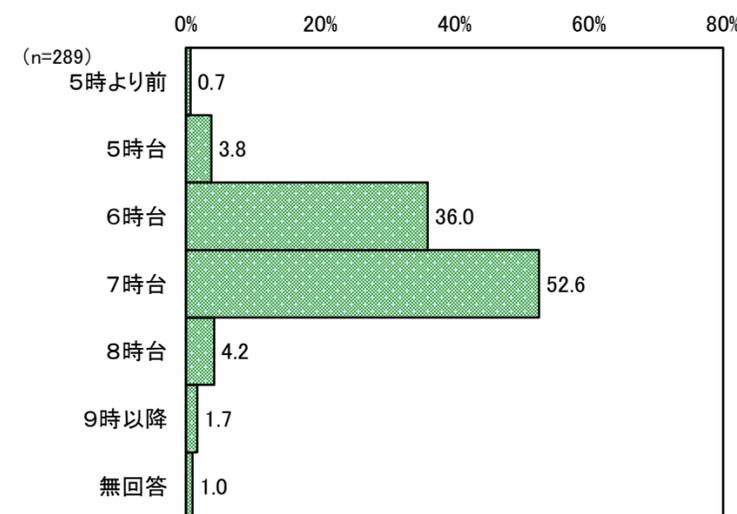


【就学前/就寝時刻】

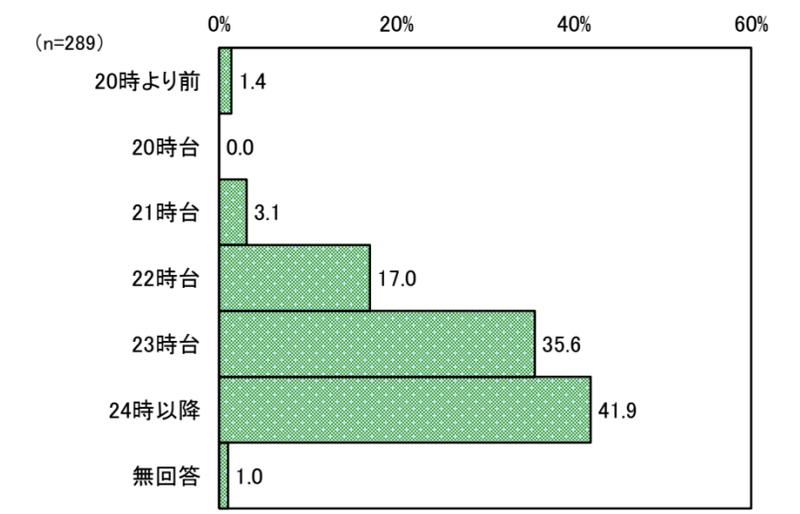


起床時刻は、「7時台」が56.4%で最も多く、次いで「6時台」が28.1%、「8時台」が6.4%、「5時台」が0.9%、「9時以降」が0.4%となっています。
就寝時刻は、「21時台」が51.1%で最も多く、次いで「22時台」が28.3%、「20時台」が9.3%、「23時台」が2.2%、「20時より前」が1.1%となっています。

【中高生/起床時刻】

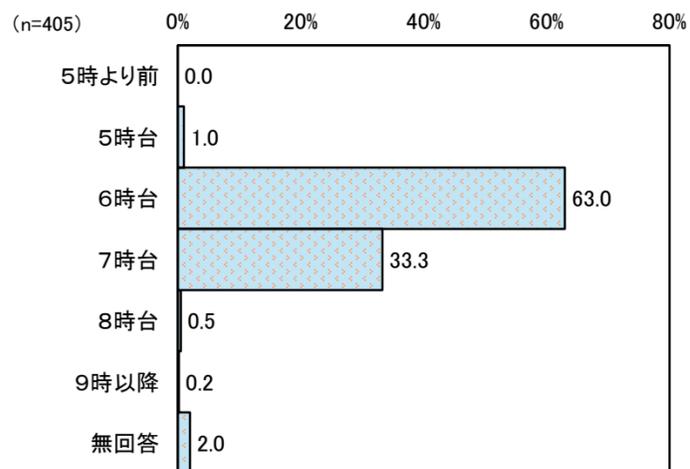


【中高生/就寝時刻】

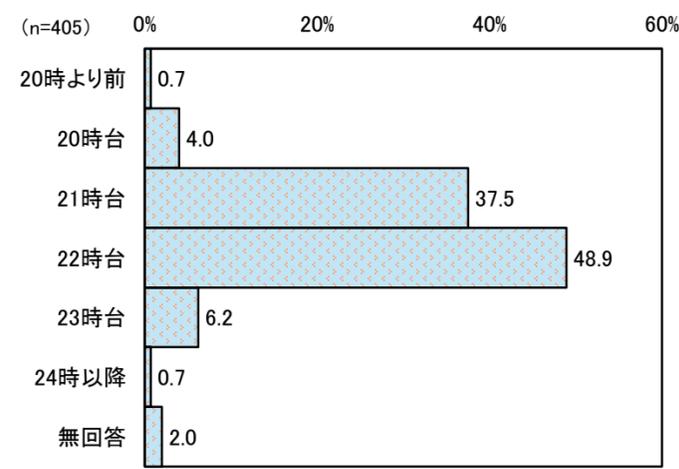


起床時刻は、「7時台」が52.6%で最も多く、次いで「6時台」が36.0%、「8時台」が4.2%、「5時台」が3.8%、「9時以降」が1.7%となっています。
就寝時刻は、「24時以降」が41.9%で最も多く、次いで「23時台」が35.6%、「22時台」が17.0%、「21時台」が3.1%、「20時より前」が1.4%となっています。

【小学生/起床時刻】

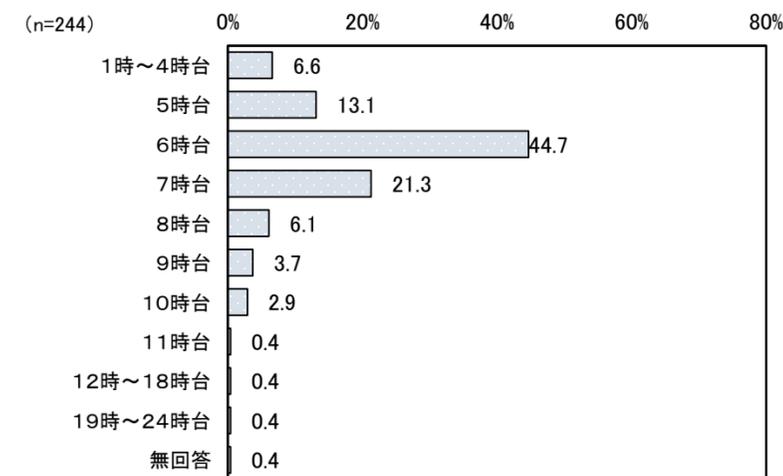


【小学生/就寝時刻】

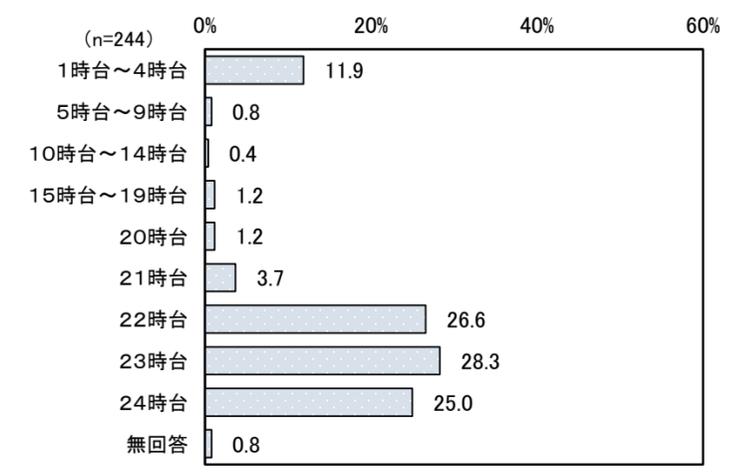


起床時刻は、「6時台」が63.0%で最も多く、次いで「7時台」が33.3%、「5時台」が1.0%、「8時台」が0.5%、「9時以降」が0.2%となっています。
就寝時刻は、「22時台」が48.9%で最も多く、次いで「21時台」が37.5%、「23時台」が6.2%、「20時台」が4.0%、「20時より前」が0.7%となっています。

【若者等（18～49歳）/起床時刻】



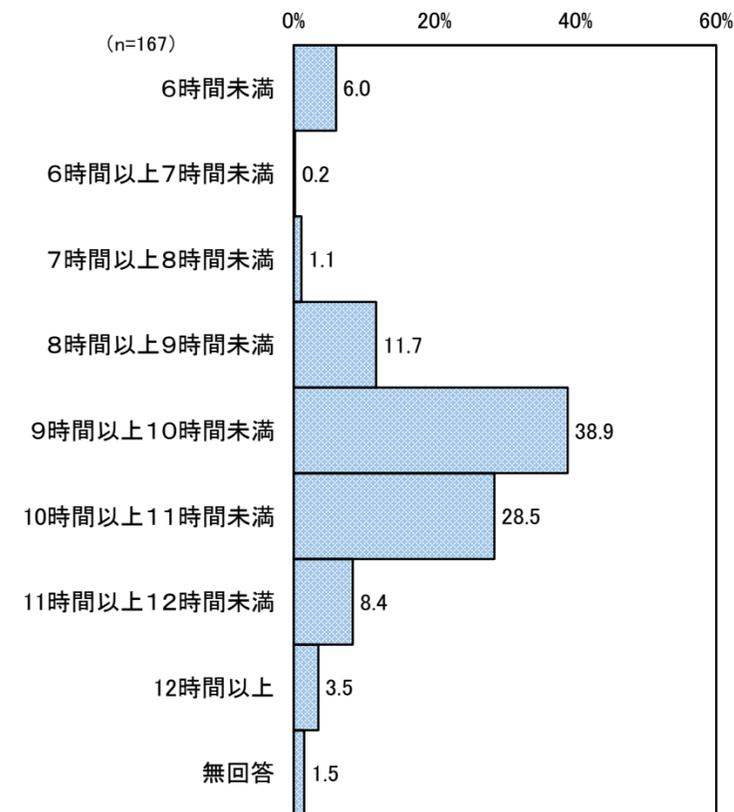
【若者等（18～49歳）/就寝時刻】



起床時刻は、「6時台」が44.7%で最も多く、次いで「7時台」が21.3%、「5時台」が13.1%、「1時～4時台」が6.6%、「8時台」が6.1%となっています。
就寝時刻は、「23時台」が28.3%で最も多く、次いで「22時台」が26.6%、「24時台」が25.0%、「1時台～4時台」が11.9%、「21時台」が3.7%となっています。

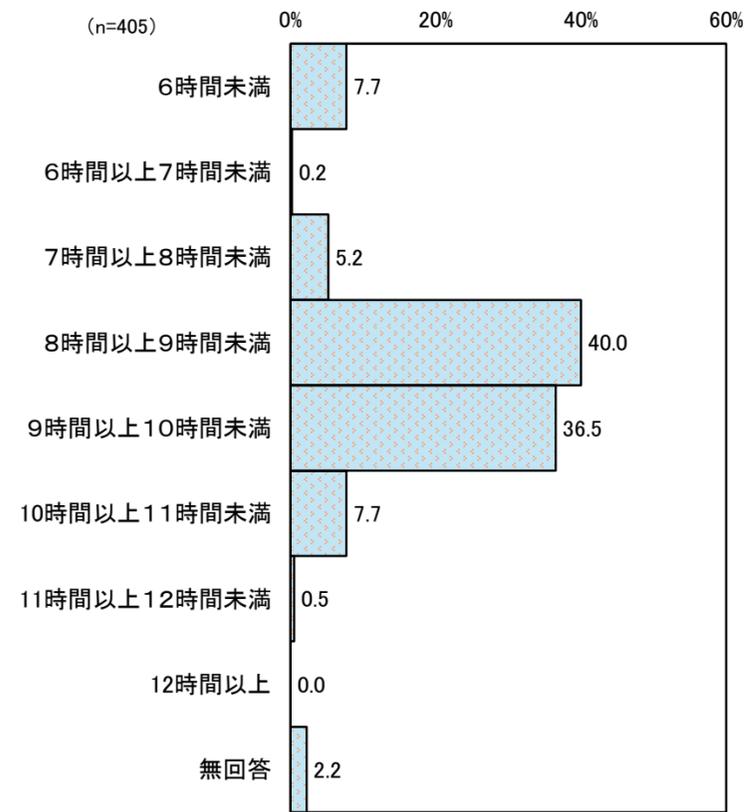
1. 生活状況—平均睡眠時間

【就学前】



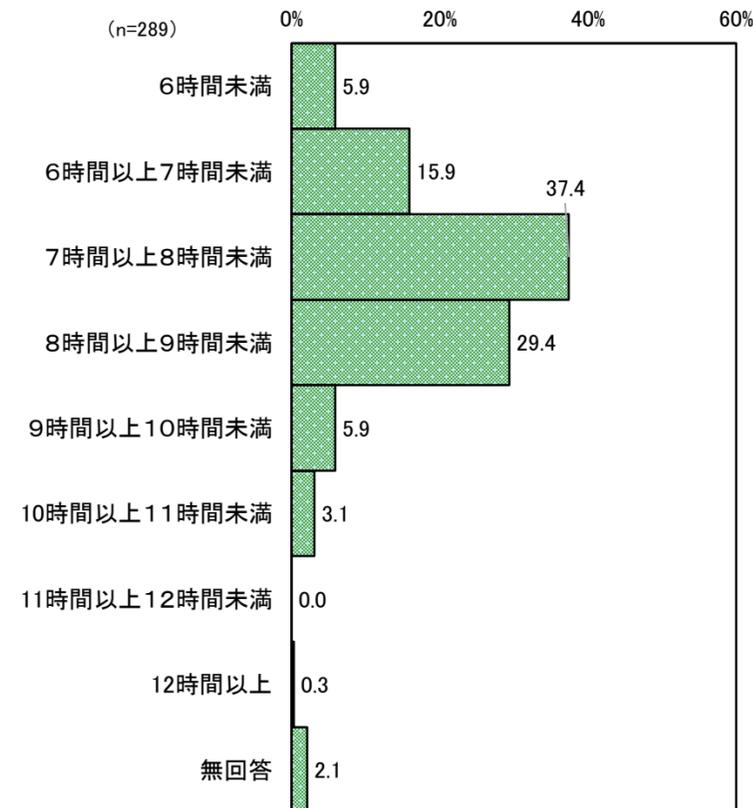
就学前児童の平均睡眠時間は、「9時間以上10時間未満」が38.9%で最も多く、次いで「10時間以上11時間未満」が28.5%、「8時間以上9時間未満」が11.7%となっています。

【小学生】



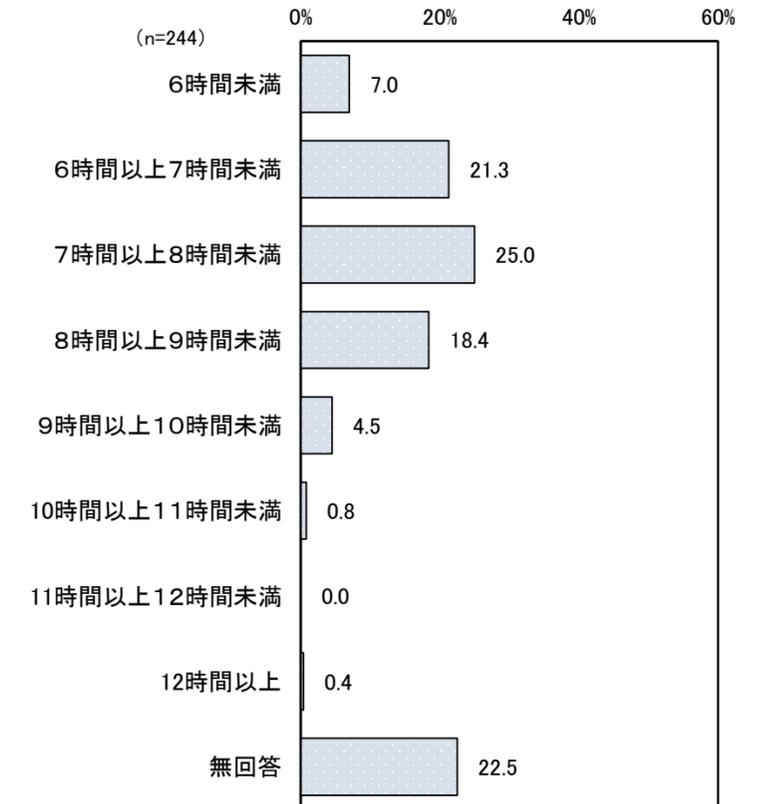
小学生の平均睡眠時間は、「8時間以上9時間未満」が40.0%で最も多く、次いで「9時間以上10時間未満」が36.5%となっています。

【中高生】



中高生の平均睡眠時間は、「7時間以上8時間未満」が37.4%で最も多く、次いで「8時間以上9時間未満」が29.4%、「6時間以上7時間未満」が15.9%となっています。

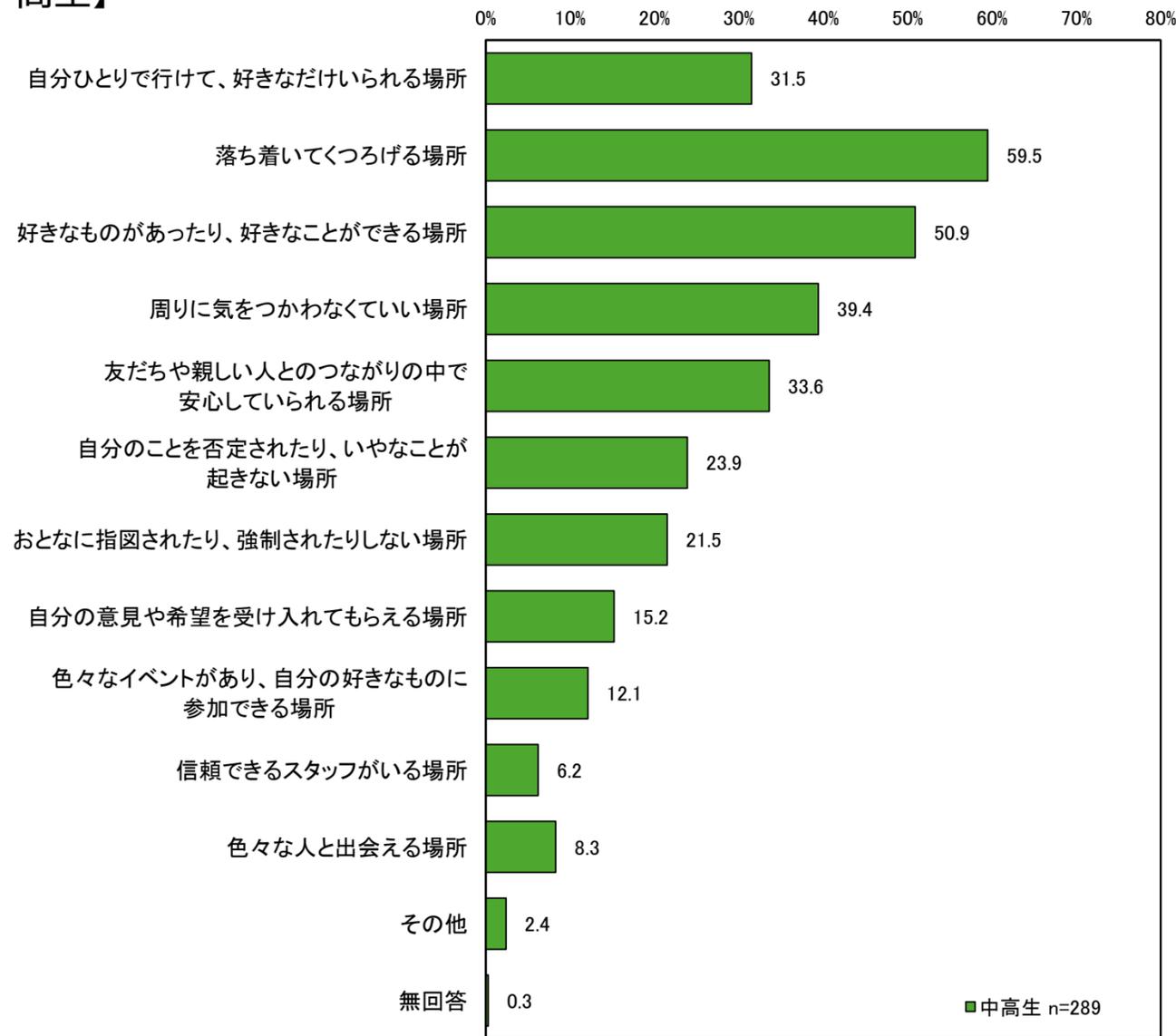
【若者等（18～49歳）】



若者等の平均睡眠時間は、「7時間以上8時間未満」が25.0%で最も多く、次いで「6時間以上7時間未満」が21.3%、「8時間以上9時間未満」が18.4%となっています。

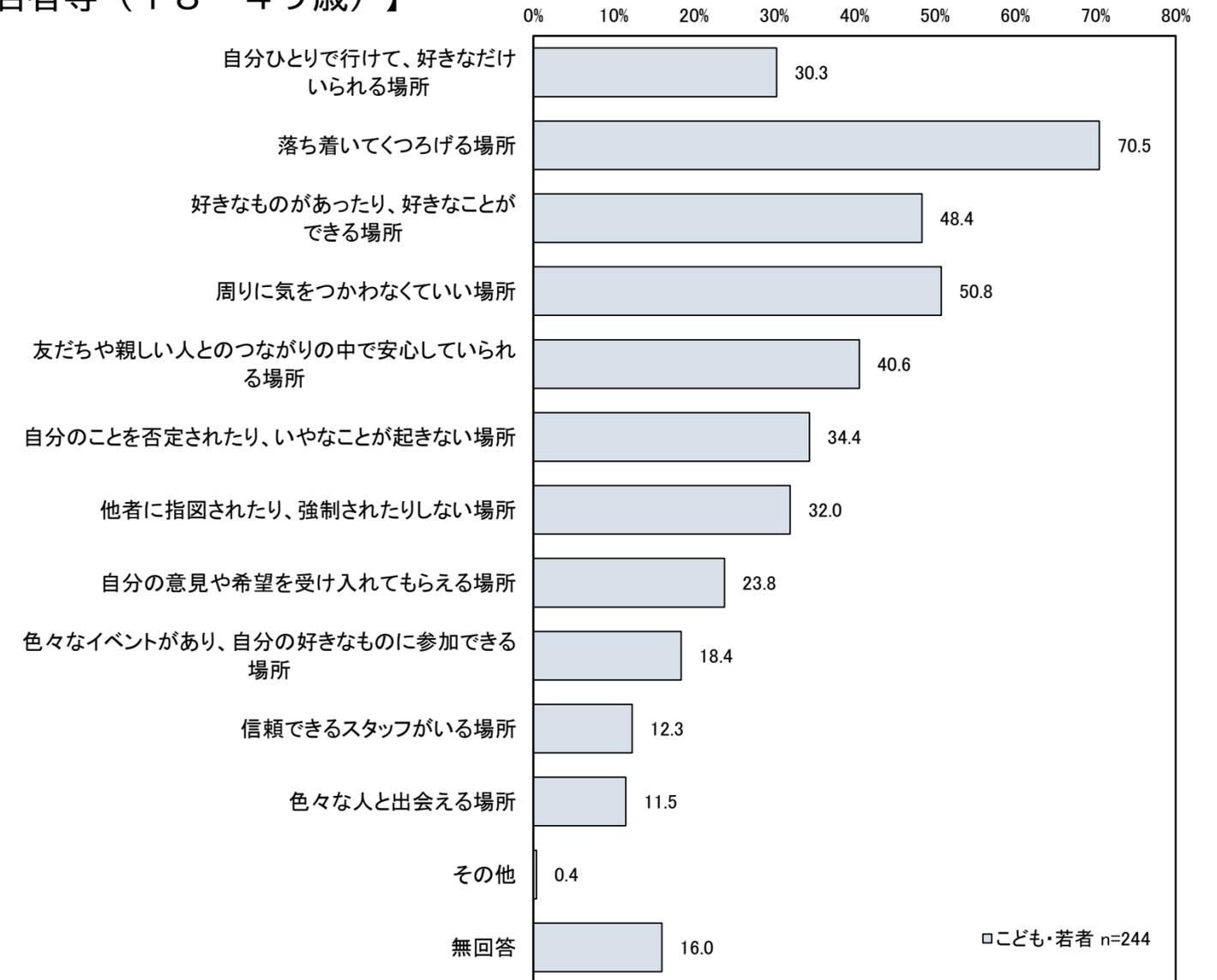
2. 居場所についてー理想の居場所

【中高生】



「落ち着いたくつろげる場所」が59.5%で最も多く、次いで「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が50.9%、「周りに気をつかわなくていい場所」が39.4%、「友だちや親しい人とのつながりの中で安心していられる場所」が33.6%、「自分ひとりで行けて、好きなだけいられる場所」が31.5%となっています。

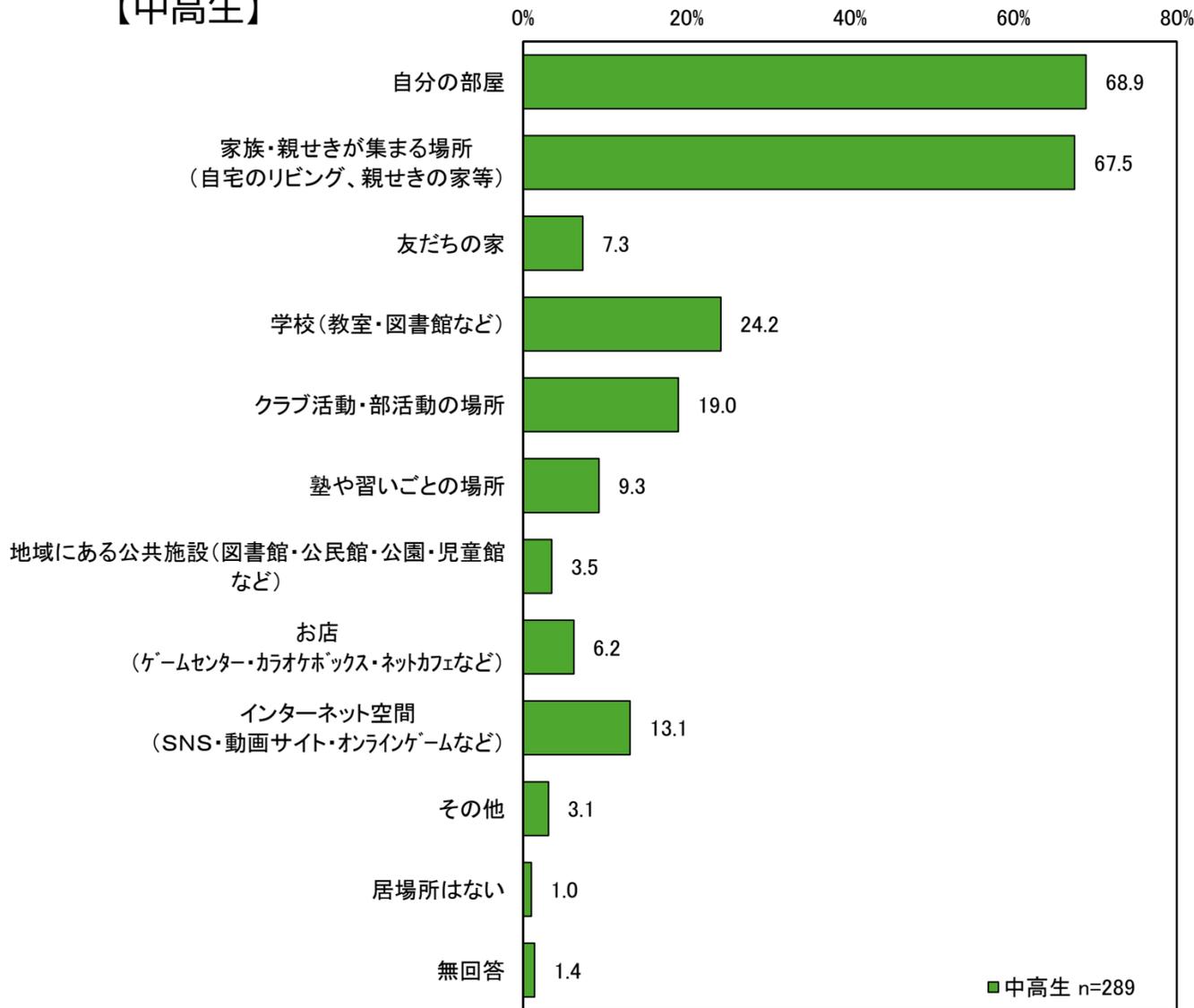
【若者等（18～49歳）】



「落ち着いたくつろげる場所」が70.5%で最も多く、次いで「周りに気をつかわなくていい場所」が50.8%、「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が48.4%、「友だちや親しい人とのつながりの中で安心していられる場所」が40.6%、「自分のことを否定されたり、いやなことが起きない場所」が34.4%となっています。

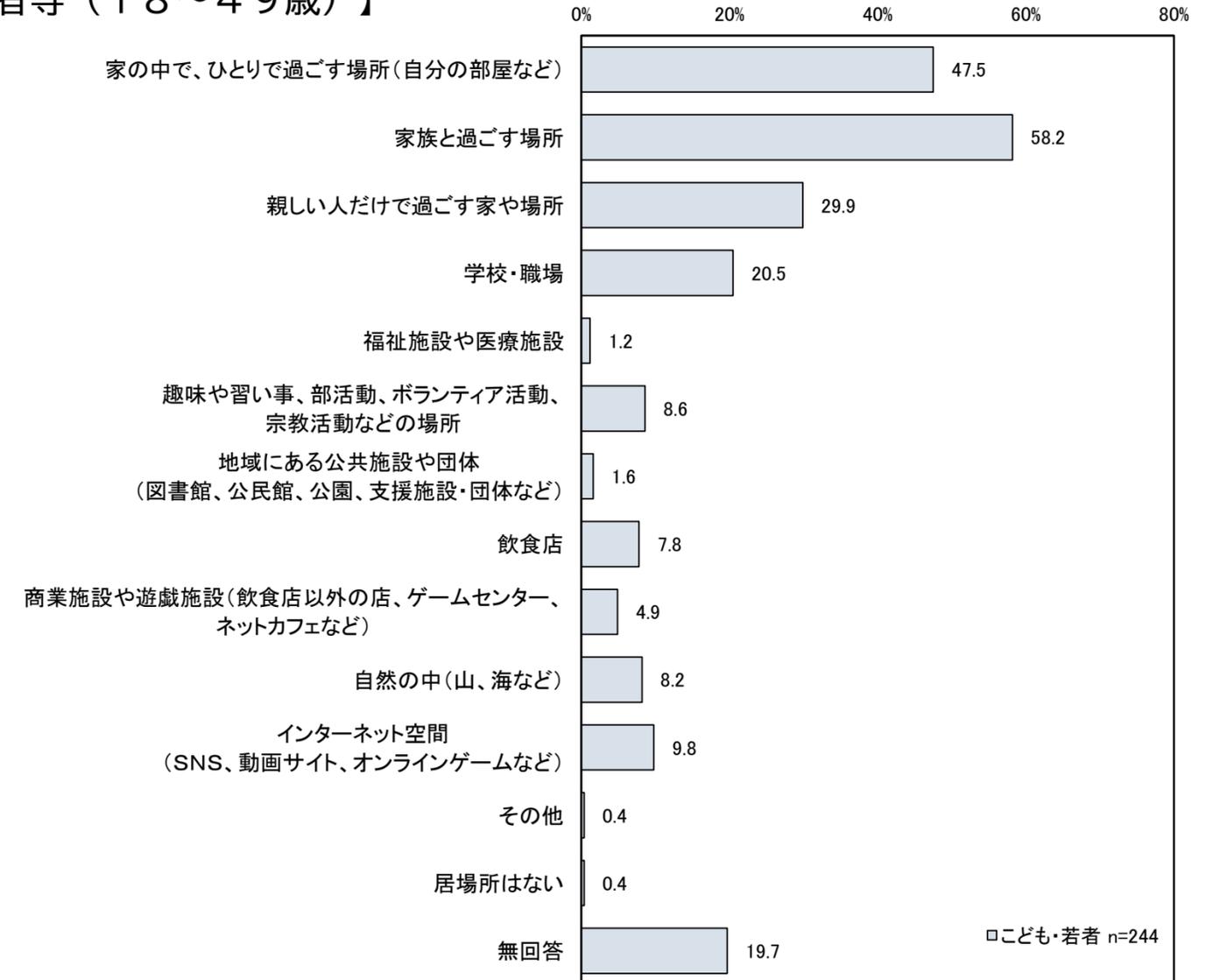
2. 居場所について—今の居場所

【中高生】



「自分の部屋」が68.9%で最も多く、次いで「家族・親せきが集まる場所（自宅のリビング、親せきの家等）」が67.5%、「学校（教室・図書館など）」が24.2%、「クラブ活動・部活動の場所」が19.0%、「インターネット空間（SNS・動画サイト・オンラインゲームなど）」が13.1%となっています。

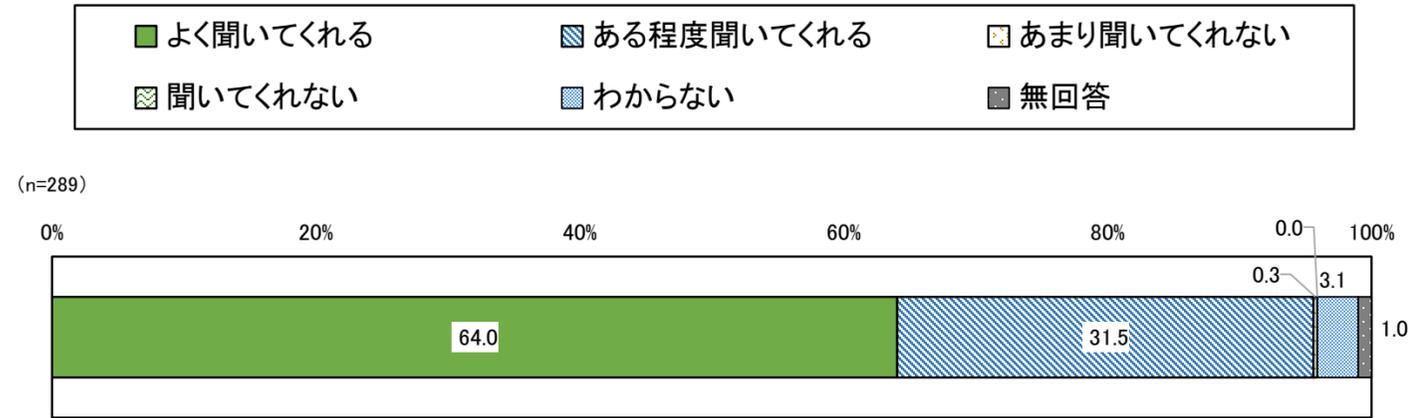
【若者等（18～49歳）】



「家族と過ごす場所」が58.2%で最も多く、次いで「家の中で、ひとりで過ごす場所（自分の部屋など）」が47.5%、「親しい人だけで過ごす家や場所」が29.9%、「学校・職場」が20.5%、「インターネット空間（SNS、動画サイト、オンラインゲームなど）」が9.8%となっています。

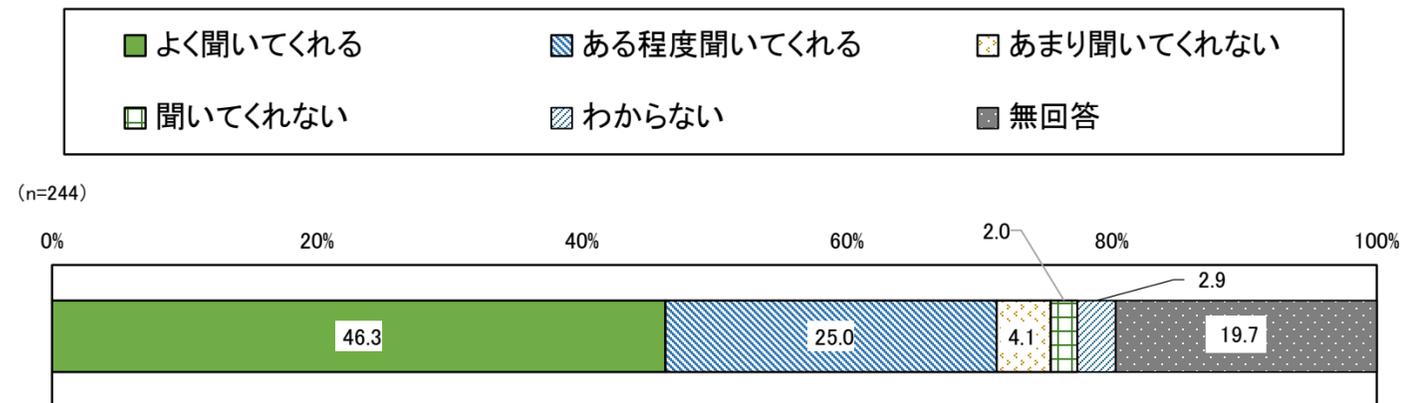
3. あなたの家族の方は、あなたの話をよく聞いてくれると思いますか。

【中高生】



「よく聞いてくれる」が64.0%で最も多く、次いで「ある程度聞いてくれる」が31.5%、「わからない」が3.1%、「あまり聞いてくれない」が0.3%となっています。

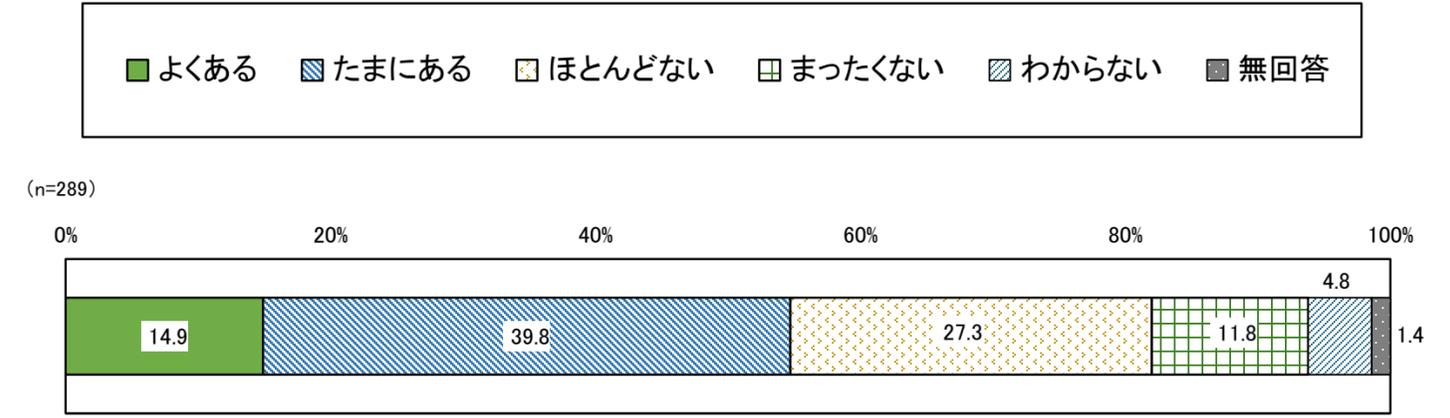
【若者等（18歳～49歳）】



「よく聞いてくれる」が46.3%で最も多く、次いで「ある程度聞いてくれる」が25.0%、「あまり聞いてくれない」が4.1%、「聞いてくれない」が19.7%、「わからない」が2.9%、「無回答」が2.0%となっています。

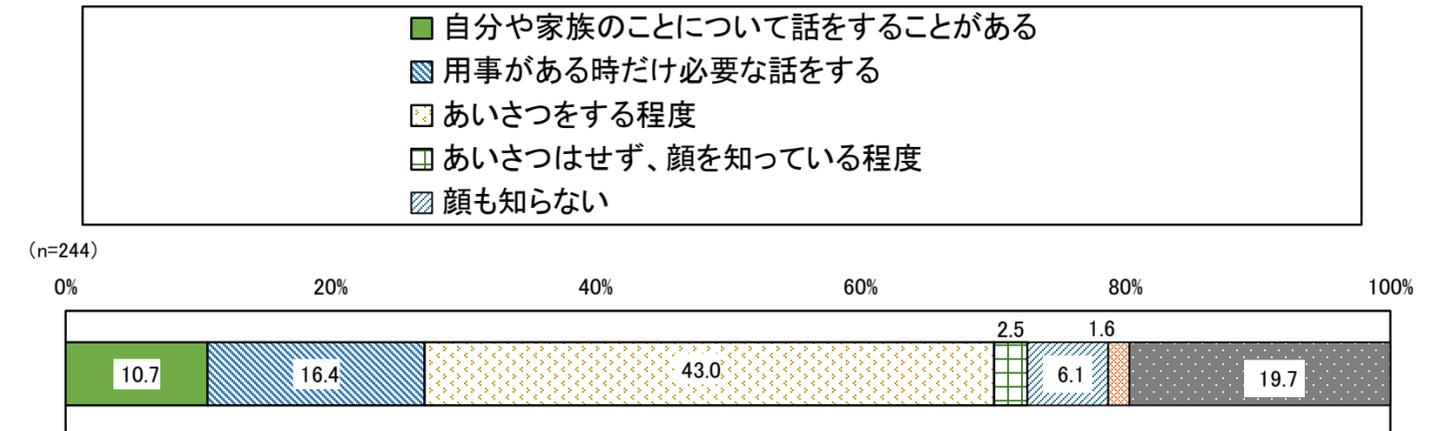
4. 近所に住む大人との間に日頃から声掛けなどのコミュニケーションがありますか。

【中高生】



「たまにある」が39.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が27.3%、「よくある」が14.9%、「まったくない」が11.8%、「わからない」が4.8%となっています。

【若者等（18歳～49歳）】

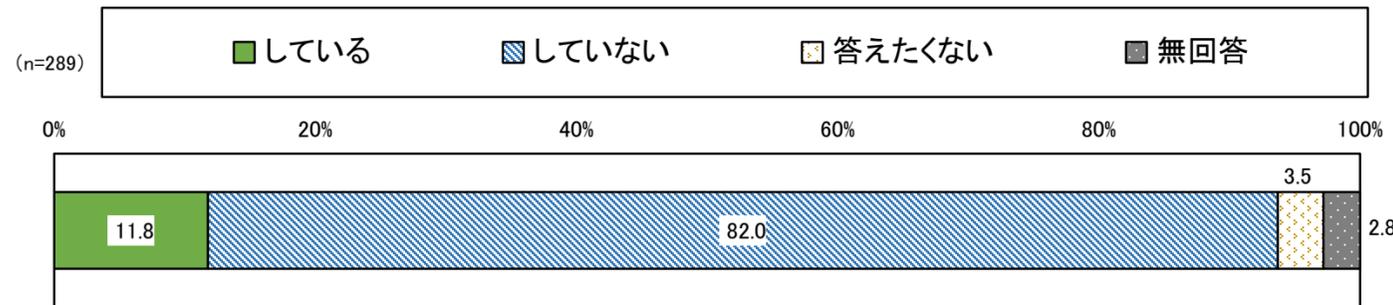


「あいさつをする程度」が43.0%で最も多く、次いで「用事がある時だけ必要な話をする」が16.4%、「自分や家族のことについて話をする」が10.7%、「顔も知らない」が6.1%、「あいさつはせず、顔を知っている程度」が2.5%となっています。

5. 日常的に自分の家族のお世話をしていますか。

【中高生】

※お世話とは…●障がいや病気のある家族に代わり、買い物や料理などの家事をしている
●病気の家族の看病や身の回りのお手伝いをしている
●家族に代わり、きょうだいのお世話をしている
●目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている
●日本語が話せない家族のために代わりに話している
●家計を支えるためにアルバイトなどで家族を助けている など

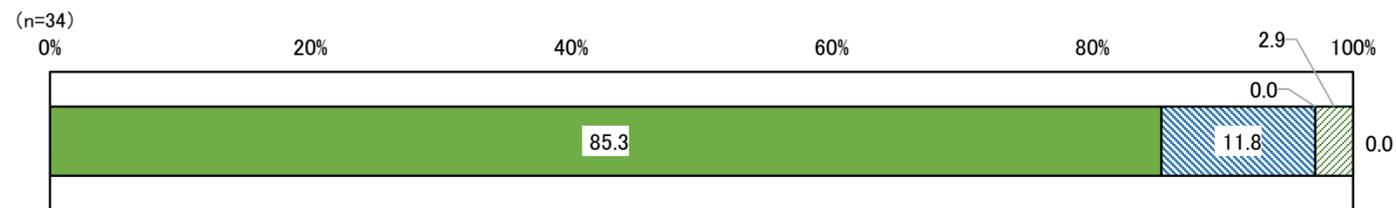


「していない」が82.0%で最も多く、次いで「している」が11.8%、「答えたくない」が3.5%となっています。

(5.で「している」と回答した方について)

6. お世話をすることについてどう思いますか。

■ 家族のお世話をするのは当たり前だと思う ■ 家族のお世話をするのはつらいことがある
■ 家族のお世話をする必要はないと思う ■ その他
■ 無回答



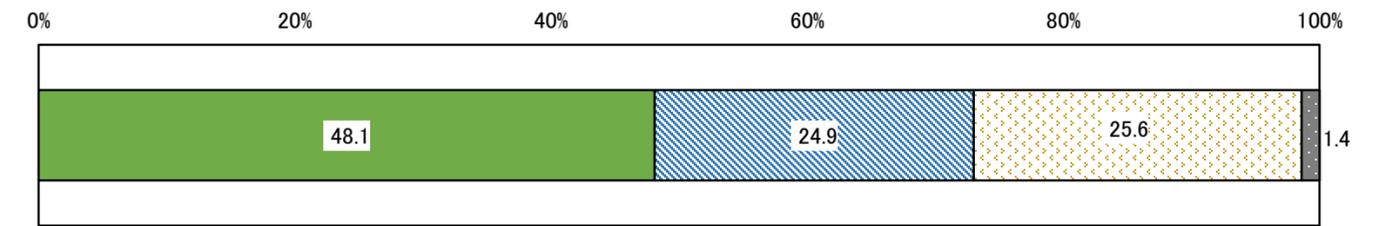
「家族のお世話をするのは当たり前だと思う」が85.3%で最も多く、次いで「家族のお世話をするのはつらいことがある」が11.8%となっています。

7. ヤングケアラーの認知度

【中高生】

■ 聞いたことがあり、内容もよく知っている ■ 聞いたことはあるが、よく知らない
■ 聞いたことがない ■ 無回答

(n=289)

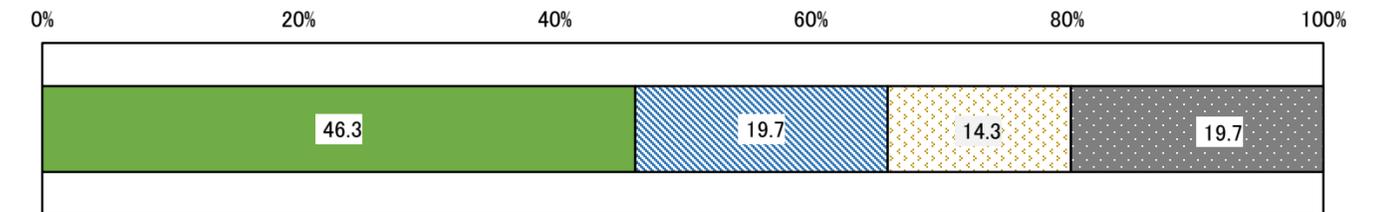


「聞いたことがあり、内容もよく知っている」が48.1%で最も多く、次いで「聞いたことがない」が25.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が24.9%となっています。

【若者等（18～49歳）】

■ 聞いたことがあり、内容もよく知っている ■ 聞いたことはあるが、よく知らない
■ 聞いたことがない ■ 無回答

(n=244)

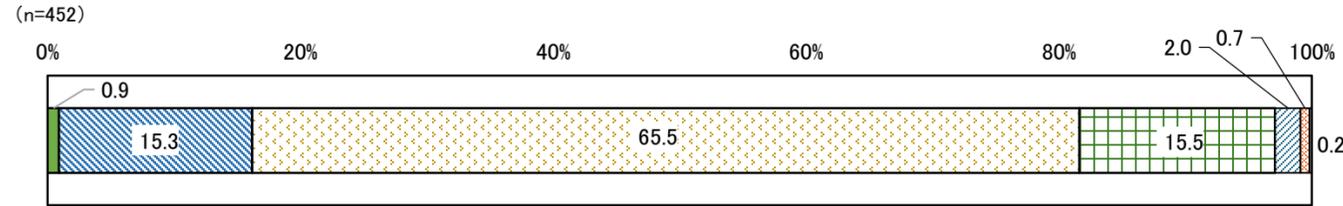
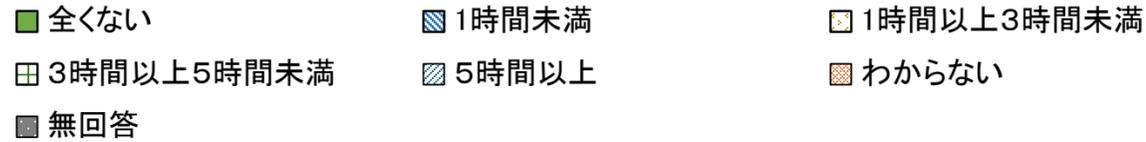


「聞いたことがあり、内容もよく知っている」が46.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が19.7%、「聞いたことがない」が14.3%となっています。

8. インターネットの利用について

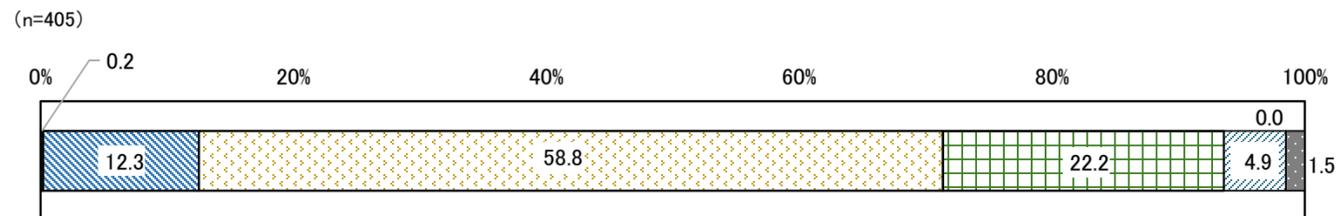
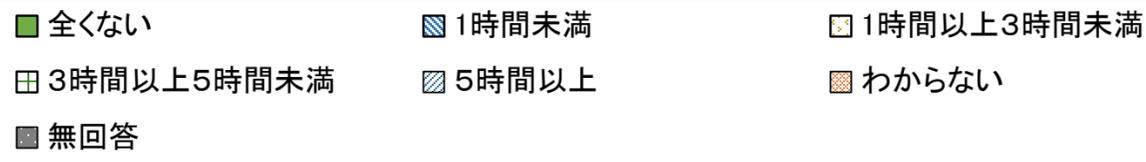
問 1日に、テレビやインターネット上の動画サイト等を見る時間は合計でどの程度ですか。

【就学前】



「1時間以上3時間未満」が65.5%で最も多く、次いで「3時間以上5時間未満」が15.5%、「1時間未満」が15.3%、「5時間以上」が2.0%、「全くない」が0.9%となっています。

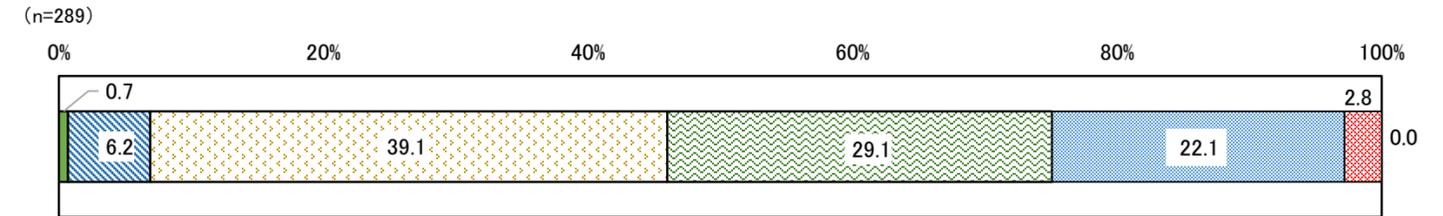
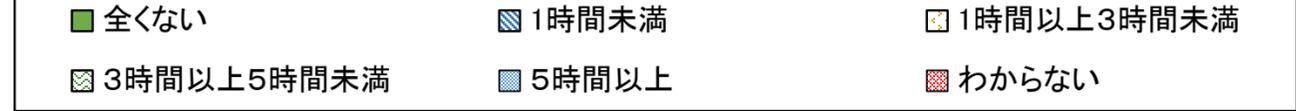
【小学生】



「1時間以上3時間未満」が58.8%で最も多く、次いで「3時間以上5時間未満」が22.2%、「1時間未満」が12.3%、「5時間以上」が4.9%、「全くない」が0.2%となっています。

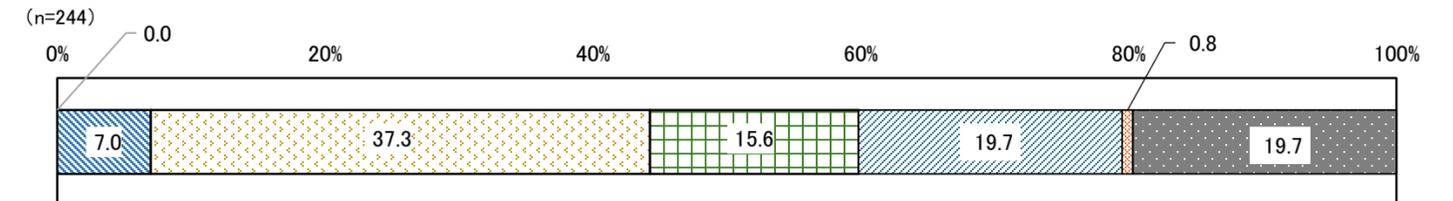
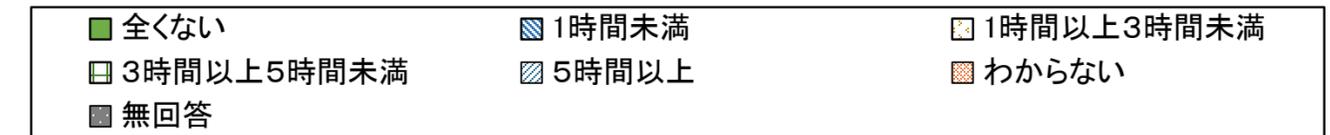
問 1日に、スマホやパソコン等を使用する時間は合計でどの程度ですか。
※あなた専用のものを持っていない場合は、家族のものを使用する時間を教えてください。

【中高生】



「1時間以上3時間未満」が39.1%で最も多く、次いで「3時間以上5時間未満」が29.1%、「5時間以上」が22.1%、「1時間未満」が6.2%、「わからない」が2.8%となっています。

【若者等（18～49歳）】

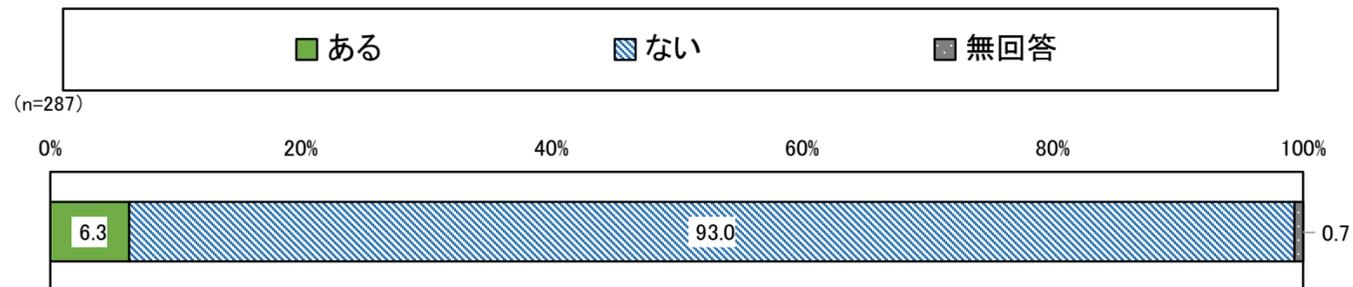


「1時間以上3時間未満」が37.3%で最も多く、次いで「5時間以上」が19.7%、「3時間以上5時間未満」が15.6%、「1時間未満」が7.0%、「わからない」が0.8%となっています。

9. インターネットによるトラブル

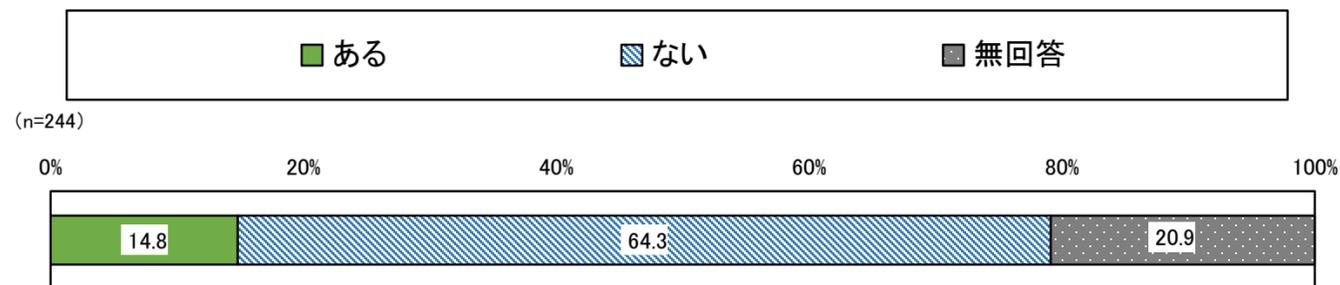
問 スマホやパソコン等を使用して、トラブルやこまったことがありましたか。

【中高生】



「ない」が93.0%で最も多く、次いで「ある」が6.3%となっています。

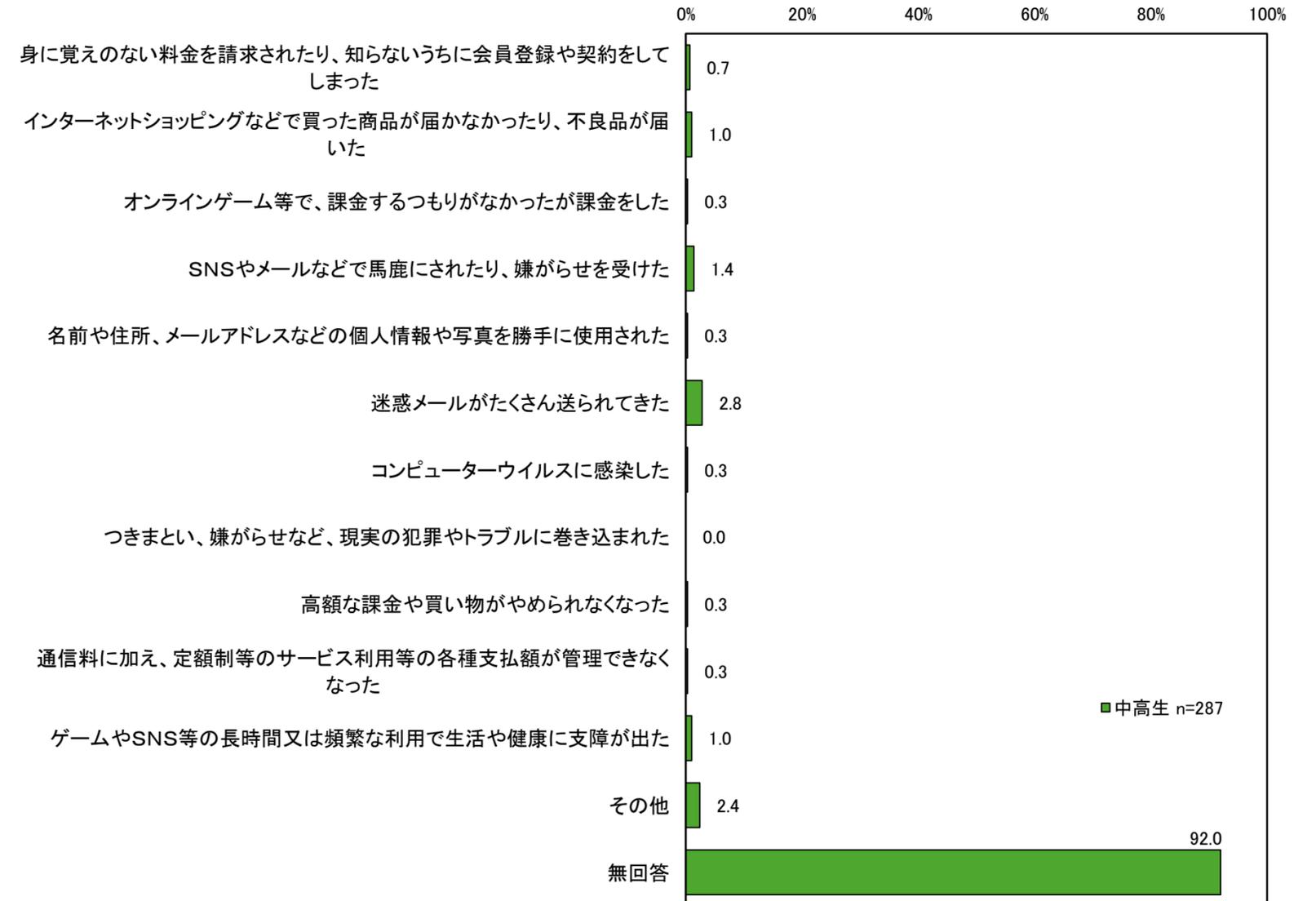
【若者等（18～49歳）】



「ない」が64.3%で最も多く、次いで「ある」が14.8%となっています。

「1. ある」を選択した人にお尋ねします。
問 トラブルや困ったことは、どのようなことですか。

【中高生】

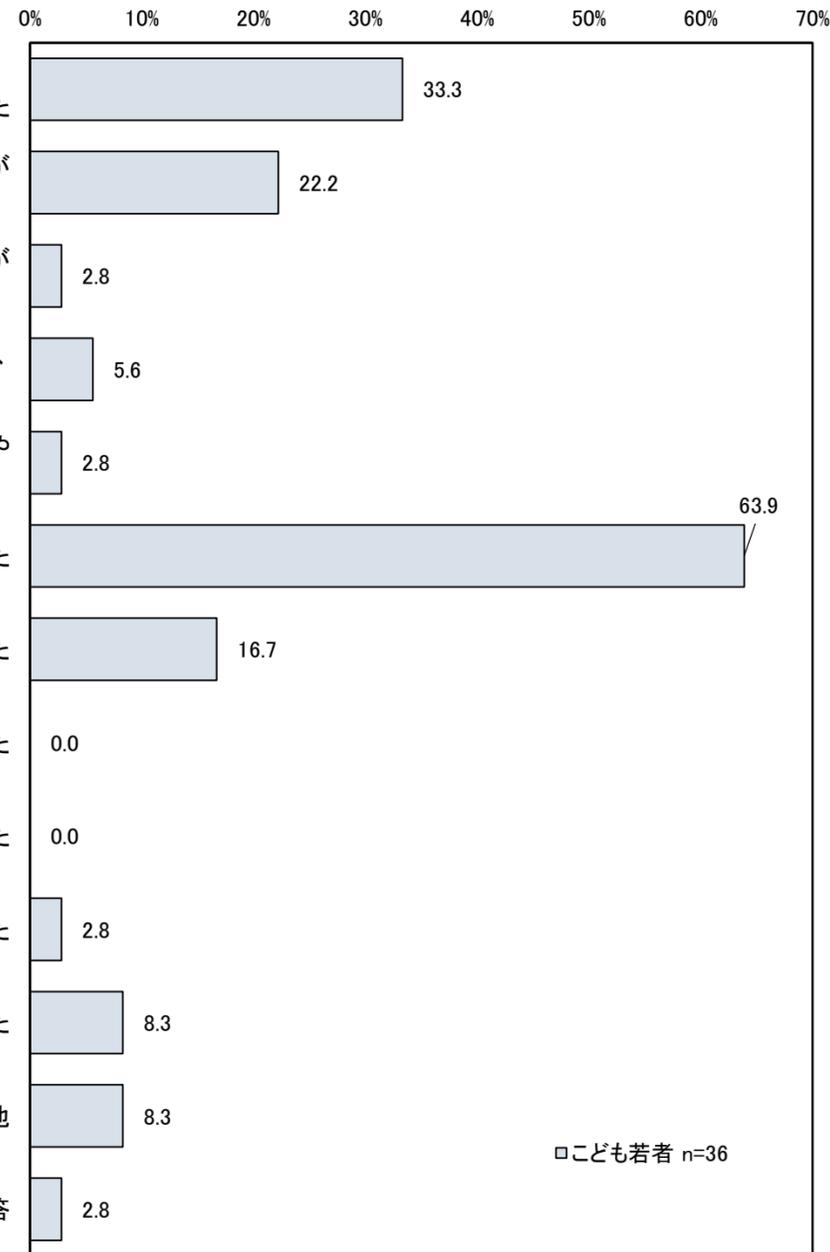


「迷惑メールがたくさん送られてきた」が2.8%で最も多く、次いで「その他」が2.4%、「SNSやメールなどで馬鹿にされたり、嫌がらせを受けた」が1.4%となっています。

9. インターネットによるトラブル

「1. ある」を選択した人にお尋ねします。
 問 トラブルや困ったことは、どのようなことですか。

【若者等（18～49歳）】

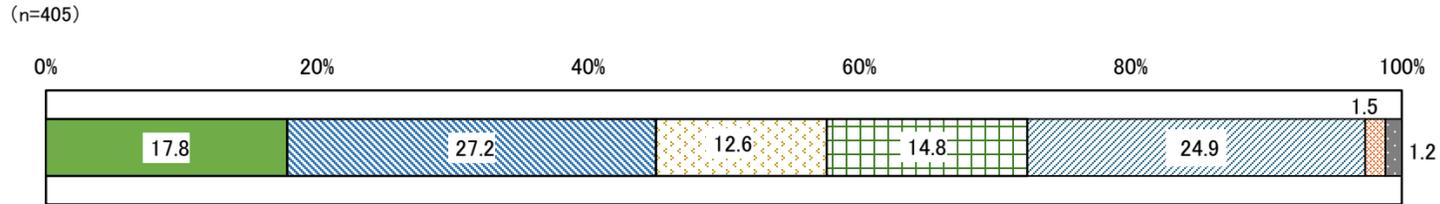


「迷惑メールがたくさん送られてきた」が63.9%で最も多く、次いで「身に覚えのない料金を請求されたり、知らないうちに会員登録や契約をしてしまった」が33.3%、「インターネットショッピングなどで買った商品が届かなかったり、不良品が届いた」が22.2%となっています。

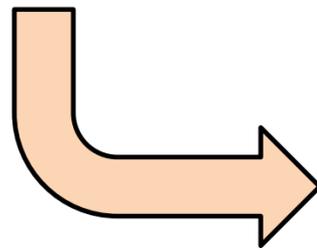
10. 倉敷市へ自分の意見を伝えたいか

問 あなたは、倉敷市に自分の意見を伝えたいと思いますか。

【小学生本人回答】

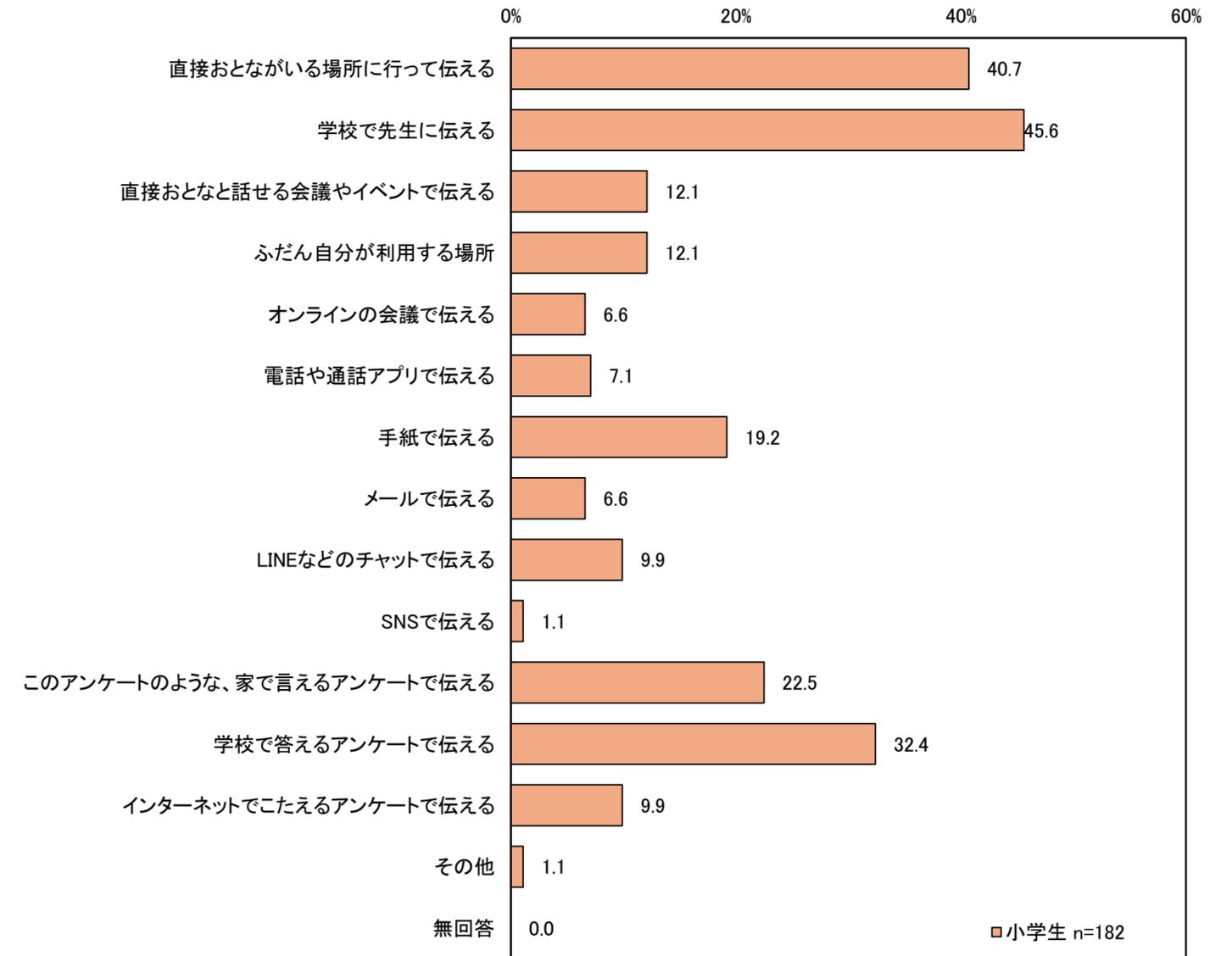


「どちらかといえば、伝えたいと思う」が27.2%で最も多く、次いで「わからない」が24.9%、「伝えたいと思う」が17.8%となっています。



1. 伝えたいと思う
2. どちらかといえば、伝えたいと思う

問 どのような方法や手段で、自分の意見が伝えやすいと思いますか。

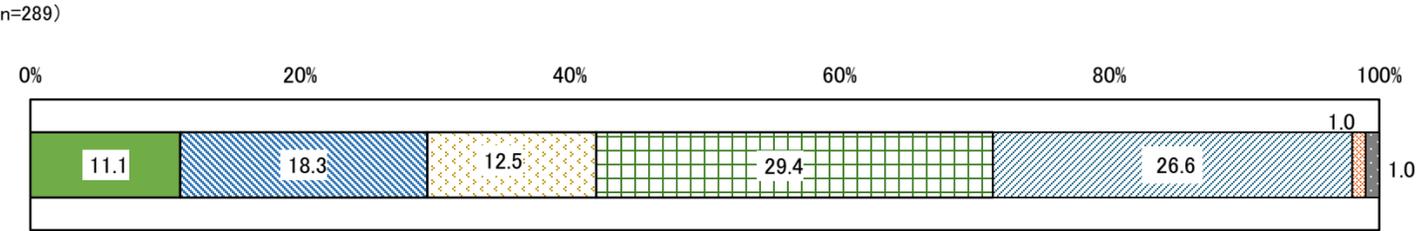


「学校で先生に伝える」が45.6%で最も多く、次いで「直接おとながいる場所に行って伝える」が40.7%、「学校で答えるアンケートで伝える」が32.4%、「このアンケートのような、家で言えるアンケートで伝える」が22.5%、「手紙で伝える」が19.2%となっています。

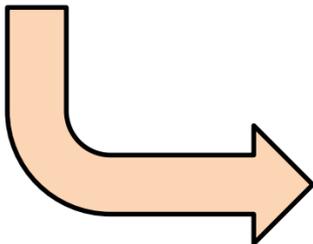
10. 倉敷市へ自分の意見を伝えたいか

問 あなたは、倉敷市に自分の意見を伝えたいと思いますか。

【中高生】

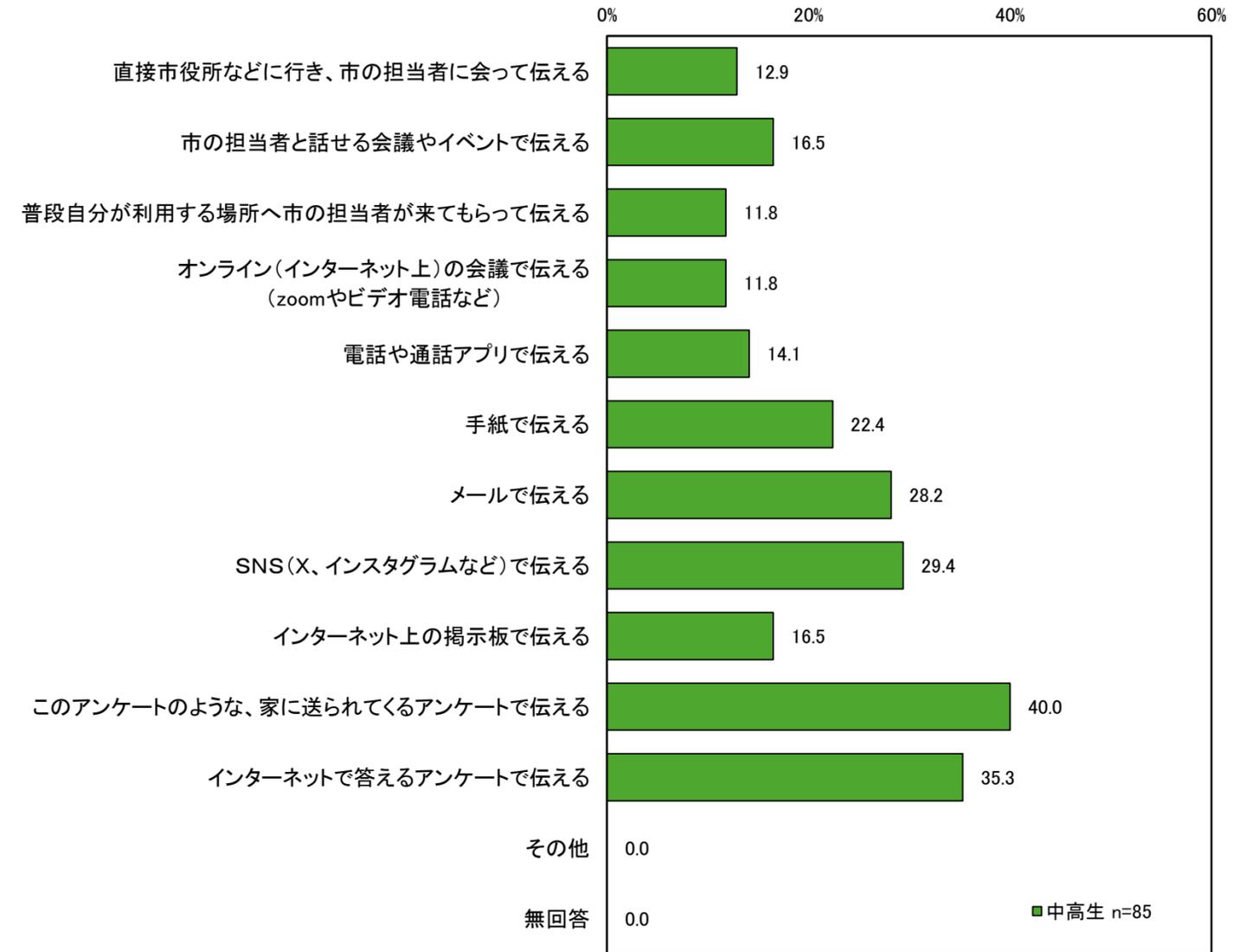


「伝えたいと思わない」が29.4%で最も多く、次いで「わからない」が26.6%、「どちらかといえば、伝えたいと思う」が18.3%となっています。



1. 伝えたいと思う
2. どちらかといえば、伝えたいと思う

問 どのような方法や手段で、自分の意見が伝えやすいと思いますか。

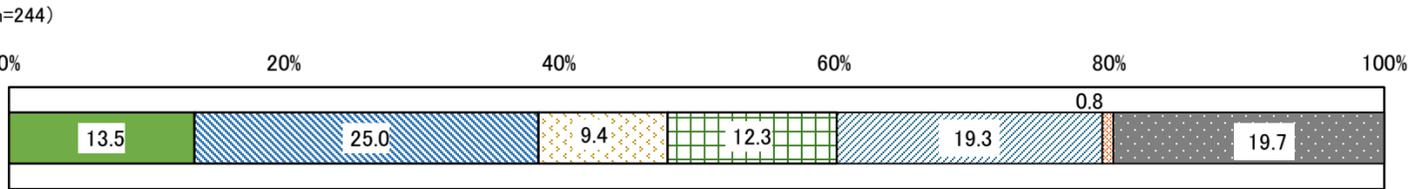
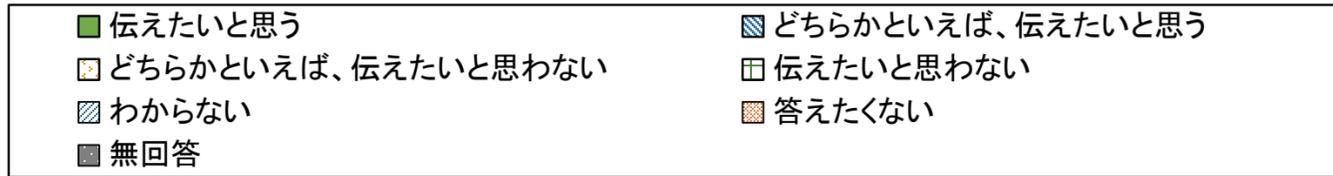


「このアンケートのような、家に送られてくるアンケートで伝える」が40.0%で最も多く、次いで「インターネットで答えるアンケートで伝える」が35.3%、「SNS(X、Instagramなど)で伝える」が29.4%、「メールで伝える」が28.2%、「手紙で伝える」が22.4%となっています。

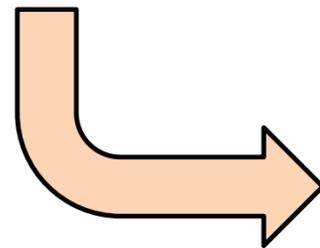
10. 倉敷市へ自分の意見を伝えたいか

問 あなたは、倉敷市に自分の意見を伝えたいと思いますか。

【若者等（18～49歳）】

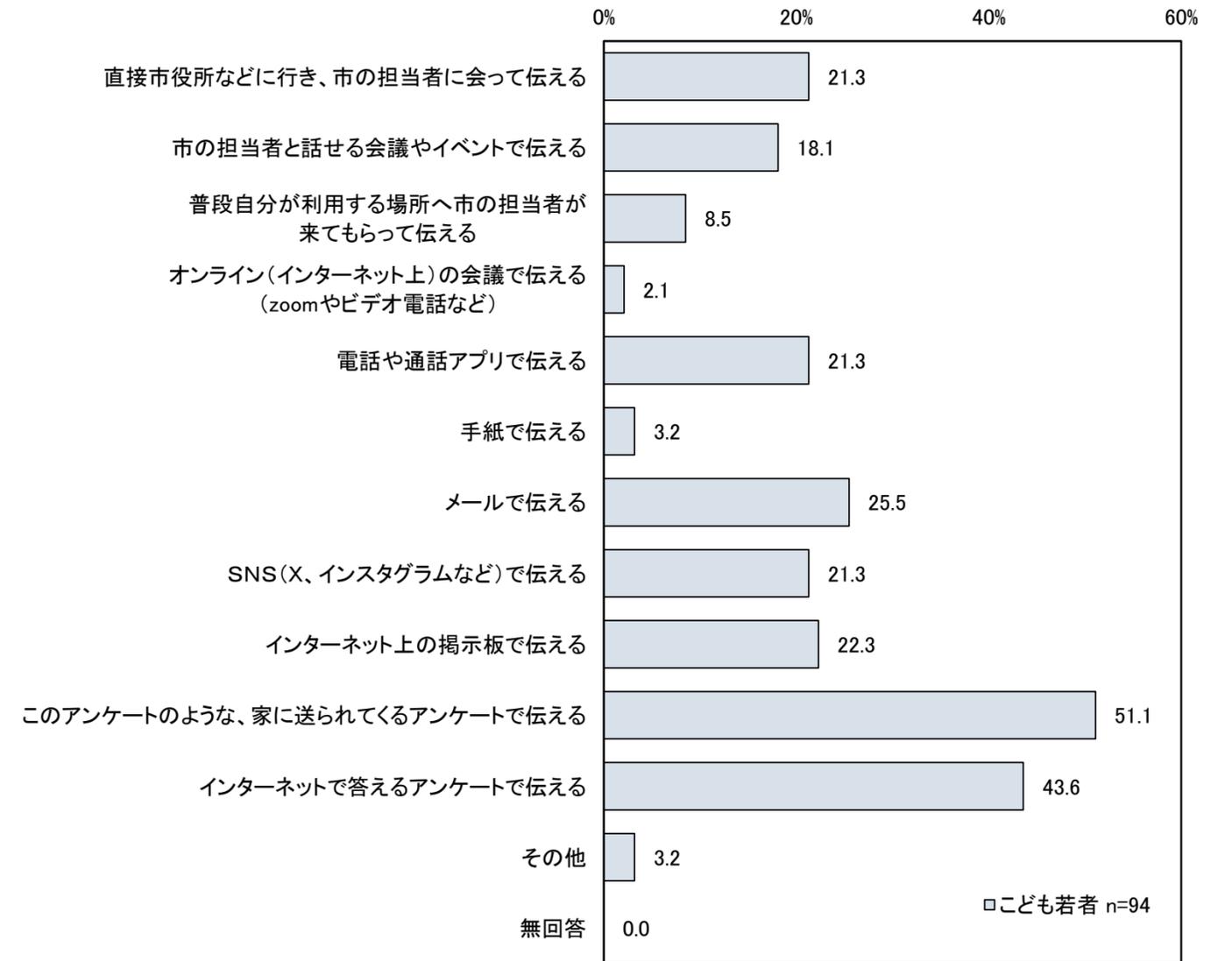


「どちらかといえば、伝えたいと思う」が25.0%で最も多く、次いで「わからない」が19.3%、「伝えたいと思う」が13.5%となっています。



1. 伝えたいと思う
2. どちらかといえば、伝えたいと思う

問 どのような方法や手段で、自分の意見が伝えやすいと思いますか。

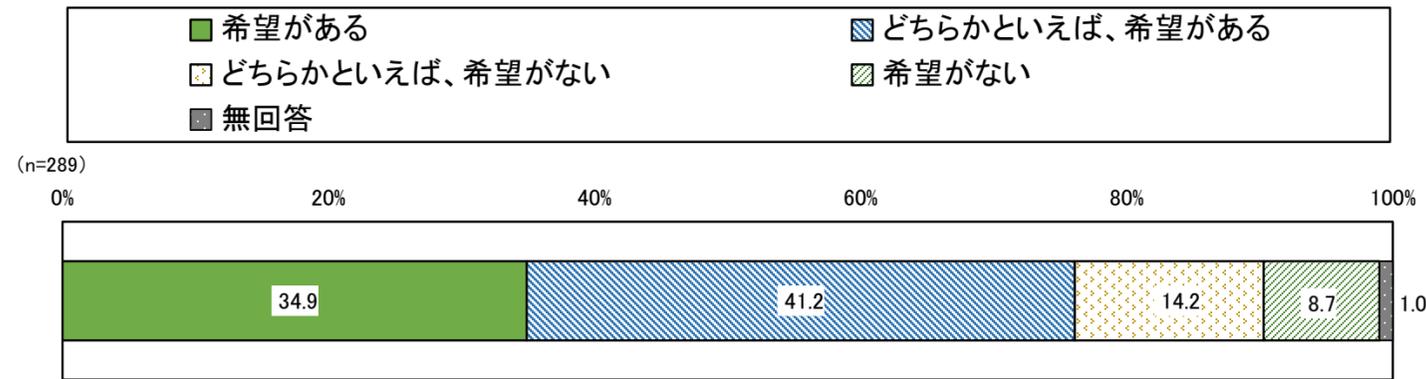


「このアンケートのような、家に送られてくるアンケートで伝える」が51.1%で最も多く、次いで「インターネットで答えるアンケートで伝える」が43.6%、「メールで伝える」が25.5%、「インターネット上の掲示板で伝える」が22.3%、「直接市役所などに行き、市の担当者にとって伝える」が21.3%となっています。

11. 将来について

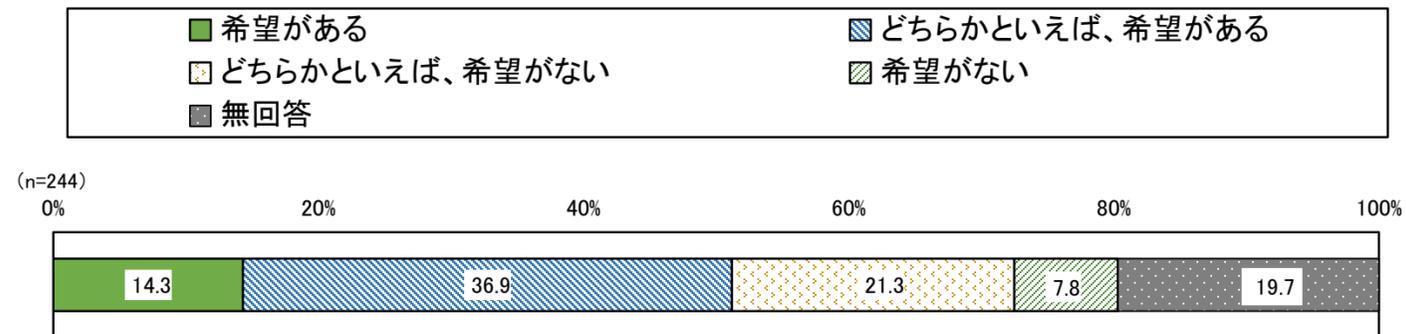
問 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。

【中高生】



「どちらかといえば、希望がある」が41.2%で最も多く、次いで「希望がある」が34.9%、「どちらかといえば、希望がない」が14.2%、「希望がない」が8.7%となっています。

【若者等（18～49歳）】



「どちらかといえば、希望がある」が36.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば、希望がない」が21.3%、「希望がある」が14.3%、「希望がない」が7.8%となっています。

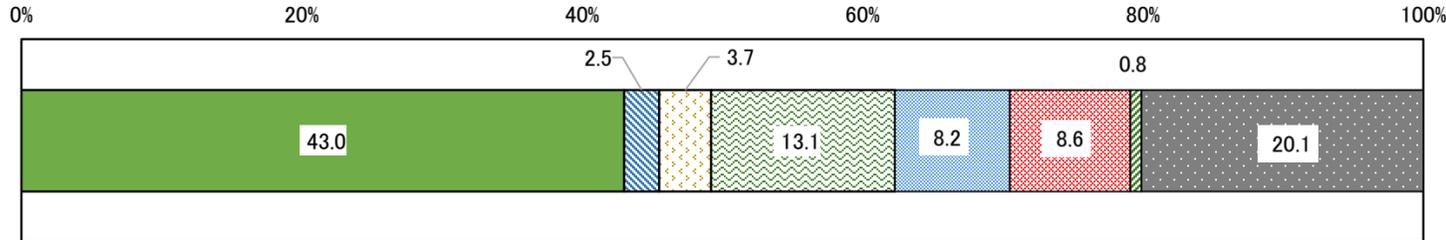
12.若者等の「結婚」について

問 結婚についてお聞きします。あなた自身の現在について、次のうちあてはまるものを教えてください。

【若者等（18～49歳）】

- 結婚している(再婚や事実婚を含む)
- 結婚していたことがある(離別・死別)
- 結婚はまだ考えられない
- その他
- 結婚する予定がある
- 結婚したいがまだ予定がない
- 結婚するつもりはない
- 無回答

(n=244)



「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が43.0%で最も多く、次いで「結婚したいがまだ予定がない」が13.1%、「結婚するつもりはない」が8.6%、「結婚はまだ考えられない」が8.2%、「結婚していたことがある（離別・死別）」が3.7%、「結婚する予定がある」が2.5%となっています。

45.5%

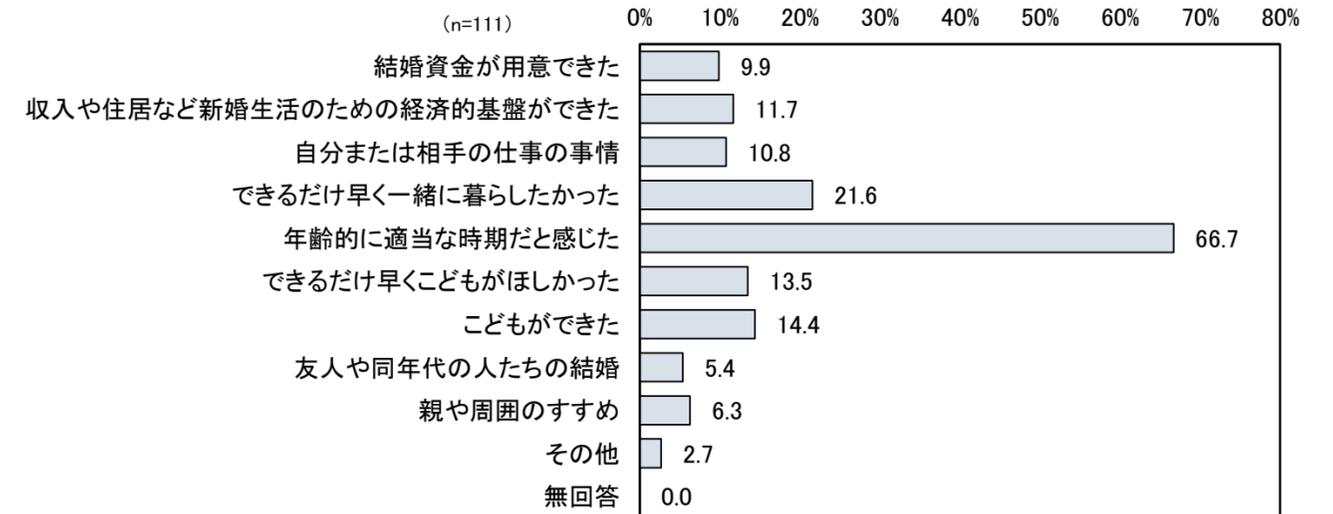
1. 結婚している
2. 結婚する予定がある

29.9%

4. 結婚したいがまだ予定がない
5. 結婚はまだ考えられない
6. 結婚するつもりはない

最終的に結婚を決めたきっかけ

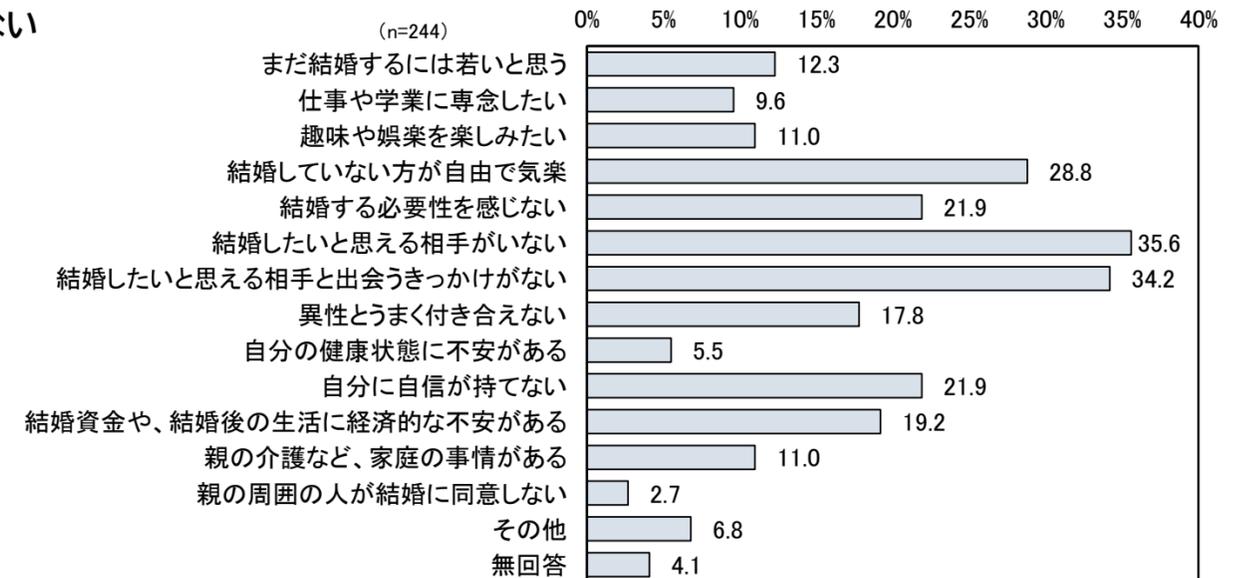
(n=111)



「年齢的に適当な時期だと感じた」が66.7%で最も多く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が21.6%、「子どもができた」が14.4%、「できるだけ早く子どもがほしかった」が13.5%、「収入や住居など新婚生活のための経済的基盤ができた」が11.7%となっています。

そのように(4～6のように)思った理由

(n=244)



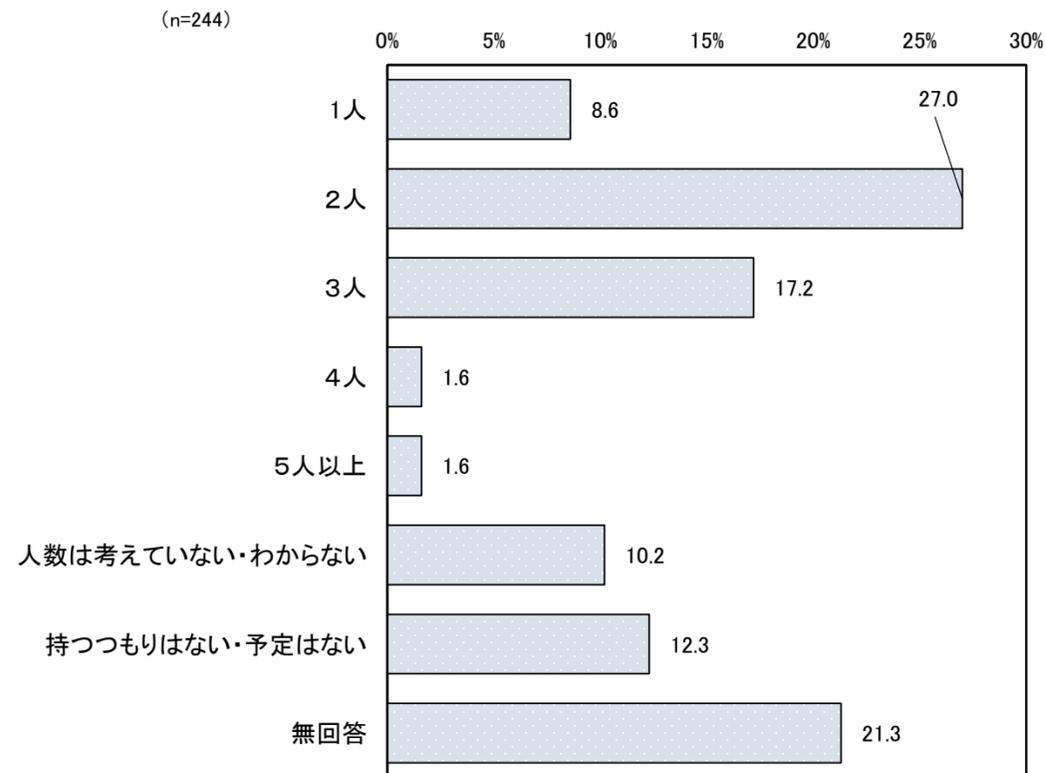
「結婚したいと思える相手がいらない」が35.6%で最も多く、次いで「結婚したいと思える相手と出会うきっかけがない」が34.2%、「結婚していない方が自由で気楽」が28.8%、「結婚する必要性を感じない」が21.9%、「自分に自信が持てない」が21.9%となっています。

13. 「こどもを持つ」ことについて

問 あなたが持ちたいと思うお子さんの数は、（今いるお子さんも含め）全部で何人ですか。

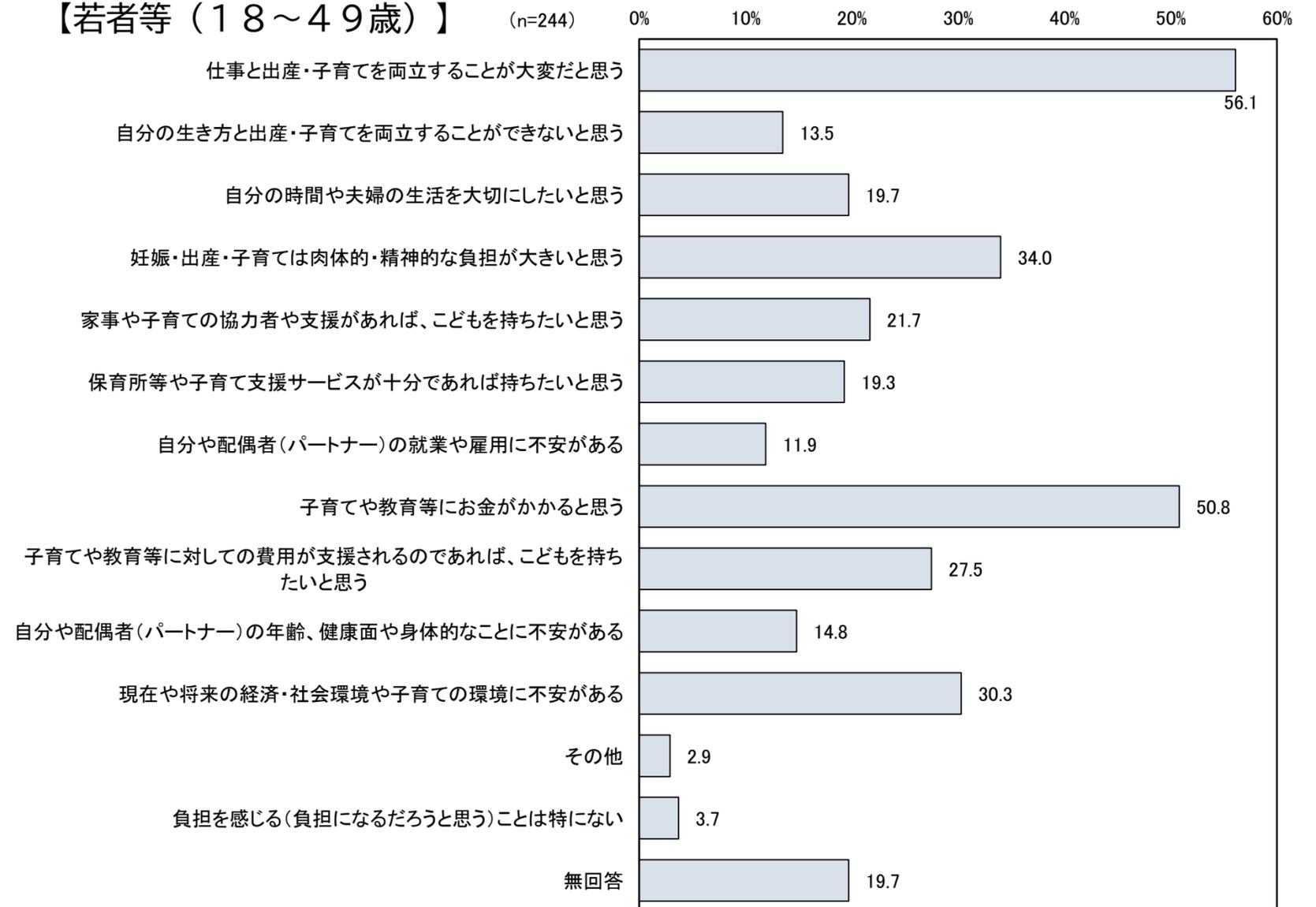
問 あなたがこどもを持つことに対して、あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）状況やイメージにあてはまるものをお答えください。【あてはまるものすべて】

【若者等（18～49歳）】



「2人」が27.0%で最も多く、次いで「3人」が17.2%、「持つつもりはない・予定はない」が12.3%、「人数は考えていない・わからない」が10.2%、「1人」が8.6%となっています。

【若者等（18～49歳）】



「仕事と出産・子育てを両立することが大変だと思う」が56.1%で最も多く、次いで「子育てや教育等にお金がかかると思う」が50.8%、「妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいと思う」が34.0%となっています。

3 子ども・子育てに関する事業所・団体等アンケート調査

1 調査の目的

本調査は、倉敷市の未来を創る子どもたちの健やかな成長を支え、実態に即したきめ細やかな施策を実施していくために子どもたちに関わる事業所等に調査し、子育て支援施策の充実を図るための基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査対象と調査方法

子育て家庭や子ども・若者等の実態や課題などについて、主に自由記述による設問にご回答いただきました。

調査対象とした市内事業所、団体等	調査方法
<p>【事業所・施設等】幼稚園、認定こども園、保育園、地域型保育施設、児童館・児童センター、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センター、母子生活支援施設、学習支援事業所、生活自立相談支援センター、社会福祉協議会</p> <p>【地域の団体・支援者等】子育て広場、子育てサロン、こども（地域）食堂、親子クラブ、不登校等支援団体</p> <p>【相談機関等（行政）】すくすく相談員（各保健推進室）、母子・父子自立支援員、こんにちは赤ちゃん訪問員、各種相談員（子ども相談センター、家庭児童相談室、総合療育相談センター、青少年育成センター、教育センター）等</p>	Web回答

3 調査期間

令和6年3月18日 ～ 令和6年4月18日

4 回収結果

配布数	回収数	有効回答率
416	107	25.7%

倉敷市子ども・子育てに関する事業所アンケート調査

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市の子ども・子育て支援施策へのご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年3月に「第二期倉敷市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでおります。

また、国はこども基本法を定め、全ての子どもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進するとしております。本市でも同法に則り、子ども・子育てに関する総合的な施策を計画できるよう、令和7年度からの次期計画「第三期倉敷市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

本市の実態に即したきめ細かな施策を実施していくためにも、子どもや保護者に対するニーズ調査だけでなく、子ども達に関わってくださる皆様方のご意見等についても計画の策定に活用してまいりたいと考えております。

年度末のお忙しいところ、大変恐縮ではございますが、この調査の趣旨・目的をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月 倉敷市長 伊東 香織

■回答方法

このアンケートは、Webフォームにてご回答ください。

パソコン、スマートフォン等より以下のURLまたは右の二次元コードを読み取り、画面の案内に従ってお答えください。

回答URL：<https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=kurashiki-260>



二次元コード

■注意事項

1. 貴事業所・団体名を必ずお答えください。
2. 選択肢がある場合には、番号を選択ください。
3. 数字をお尋ねする質問では、枠内に具体的な数字をご入力ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。
5. 回答は、令和6年3月1日現在の状況でお書きください。
6. 回答内容へは個人情報を入力しないでください。
7. 回答は任意です。（回答しない場合のご連絡は不要です。）

■回答期間

令和6年4月18日（木）まで

※期限を超えた場合はご回答いただけません

【お問い合わせ先】

（調査内容について）

倉敷市保健福祉局 子ども未来部 子育て支援課（山本・尾川）電話：086-426-3314

（入力について）

調査業務委託会社：Next-i 株式会社岡山支店 電話：086-230-0600（平日9：00～18：00）

1. 【設問】 こどもや若者等を取り巻く環境への問題点について

【回答例】 ※一部要約

- 子どもの話を聞く余裕がない保護者が多いように思う
その分、事業所では「聞いて、見て」という子ども達が多い
- 共働きでコミュニケーションやスキンシップを取れていない
- 施設側に何でも求めていると思う
- 母子家庭が増えていると思う
- 子育て世代が減少していること
- 良い親子関係と言えない家庭が多い
- 基本的な生活習慣が身につけていない
- 子どもを家庭都合で休ませる親が多い
- 子育ての孤立化、経済的・時間的なゆとりのなさ、保護者・教育者が時代の変化に対応できていない
- 保護者の生活を中心に子どもをあてはめている
- 安心して遊べる場所が少ない
- 地域とのつながりが少ない
- SNSの普及によりトラブルが起こりやすく、子どもの遊び方が変化している
- 子ども達の縦のつながりが希薄になっている
- 子ども会も先細りし、こども達が集う場所が少ない
- 家庭教育の低下

2. 【設問】 (関わっている)こどもや若者の状況について

【回答例】 ※一部要約

- 子どもが管理されることに慣れすぎて、自分で解決したり考えたりできない
- 保護者が都合の良い時だけかわいがっているように見える
- 家庭の機能が低下、地域との交流の減少
- 孤食、アレルギー、グレーゾーンの子どもの増加
- 親に素直に甘えられないこども、逆に依存度が高い子どもなど愛着面に問題がみられる
- 家庭環境が複雑な家庭が増えている
- 体調不良等による欠席が多い
- 不登校の子どもの増加
- お互いを思いやる気持ちが希薄に感じる
- ゲームや携帯などの余暇活動が多く、親子の会話などの共同活動が乏しい
- 努力やモチベーションよりも結果を重視し、自己肯定感が低い

3. 【設問】（関わっている）子育て家庭の状況について

【回答例】 ※一部要約

- 生活リズムが整っていない
- 朝ごはんを食べていない、食べさせない家庭が多くなっている
- 子どもを注意できない、怒れない親が多く、保育園任せな家庭がある
- 保護者同士のつながり方や保護者と施設側との関係が変化しており、集団や団体より個人や1家庭を尊重していくような流れになっている
- 保護者の価値観や思い、要望が強い
- 我が子中心で子どもをみている家庭がある
- 親族間での支援が受けられない家庭が多い
- 経済的に厳しい家庭が多い
- 気軽に悩みを相談できる場所や関係づくりが不足している
- 過保護、過干渉の保護者が多い
- 保育園待機児童問題
- シングルマザーで仕事に追われ、子ども達に目が行き届かず、子ども達が食べるものや生活していくものに飢えている
- 父親の育休がかなり浸透してきているが格差も感じる
- 心の病気を持たれている保護者が増えている
- 親子クラブが気になっても役員負担を考え最終年度のみ入会を希望する家庭が増えている
- 父親が育児に協力的な家庭が増えている
- ネットからの情報に振り回され、悩む人が多い

4. 【設問】（関わっている）貧困家庭・ヤングケアラーの状況について

【回答例】 ※一部要約

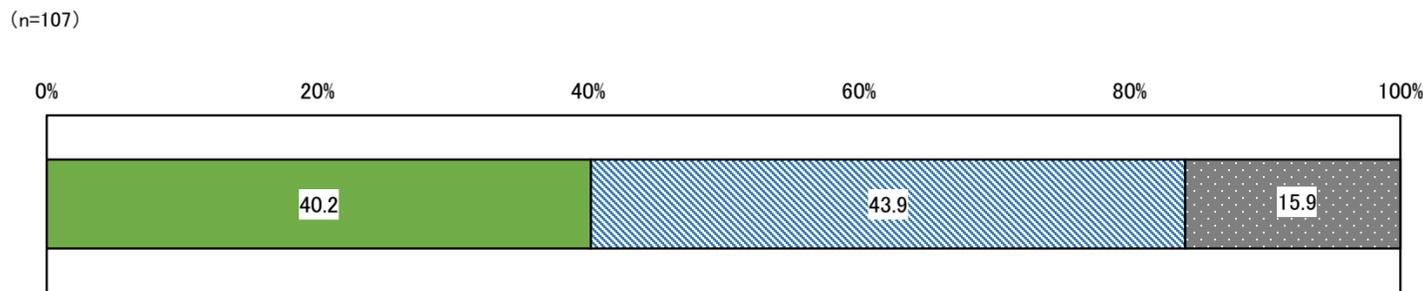
- 貧困世帯やヤングケアラー向けの支援では、まず食事や食料の提供を、思い切った量でこちらが敵ではなく、味方なのだと思ってもらえるように心がけています。それをきっかけに実際に顔を合わせる回数を重ね、思わぬところから相談事や日々の変化の報告を受けることがあります。それを経て関係構築と伴走支援に向かいます。主体は当の本人。余計な言葉掛けをせず、本人がしたいと思うことの先に、自立や独立があると思っています
- 親が夜になると働きに行き、離乳食や子どもをあやしながら受験勉強をしている子どもがいる。どうやったら簡単に作れて冷凍保存ができるか相談に来る子どもがいる
- 直接的に支援していないが（支援できる機関ではないため）ヤングケアラーと思われる子どもが時々いる
- 月に一度の開催ですが、1ヶ月が待ちきれない家庭が食料を求めます。特に学校が長期休暇になると給食がないので大変なようです。仕事を失い生活に困窮している若者も目立ちます。仕事が決まっても続かない事が多く年間で繰り返し支援を要します
- 貧困家庭に関わっており、定期的に食べるもの、日用品を支援しています
- 傾向のある保護者はいるが、様子を見守っている段階
- 乳児向けのサービスが中心であり、貧困家庭やヤングケアラーに特化した支援は行っていませんがこども食堂などの活動を通じてそうした支援を行っている団体と一緒に何かしたいと思っています

5. 【設問】（他機関等との）連携における課題や問題点について

【回答例】 ※一部要約

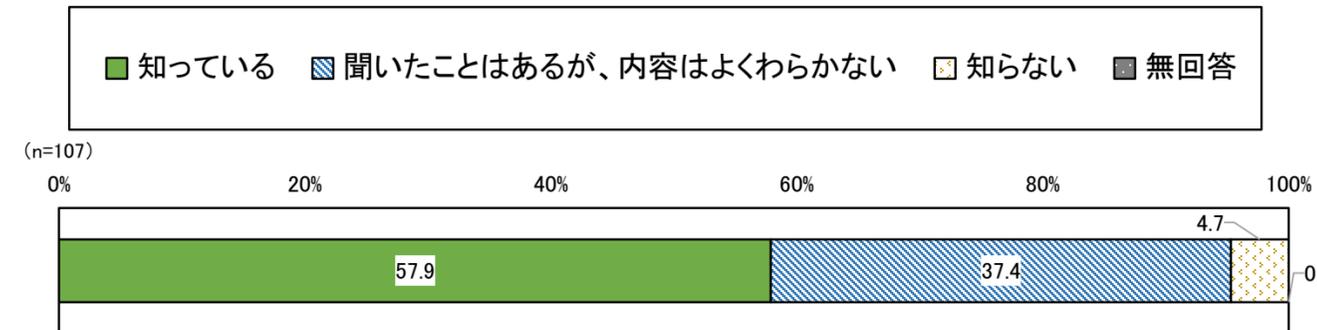
- 子育て世代と高齢者が楽しく繋がることができればと考える
- 障がい児保育のアドバイザー事業の普及
- 小学校との情報交換
- それぞれの機関の立場（求めること）に差があるため、そこをいかに埋めていくかが難しい
- それぞれの機関が抱えている業務が多忙で、新たな取組や連携への時間の確保、人材的な余裕、ゆとりがもちにくい
- 活動の輪をどう広げていくかの課題
- 情報交換をしたり、子どもについての共有を図りたいが時間が取れない

6. 現在の職員の充足状況

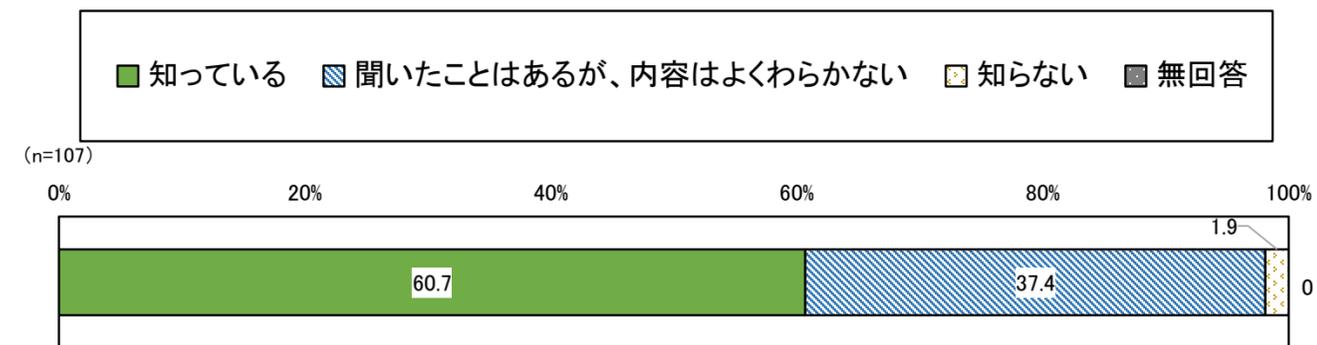


7. こども基本法・子どもの権利条約・倉敷市子ども条例の認知度

【こども基本法】



【子どもの権利条約】



【倉敷市子ども条例】

